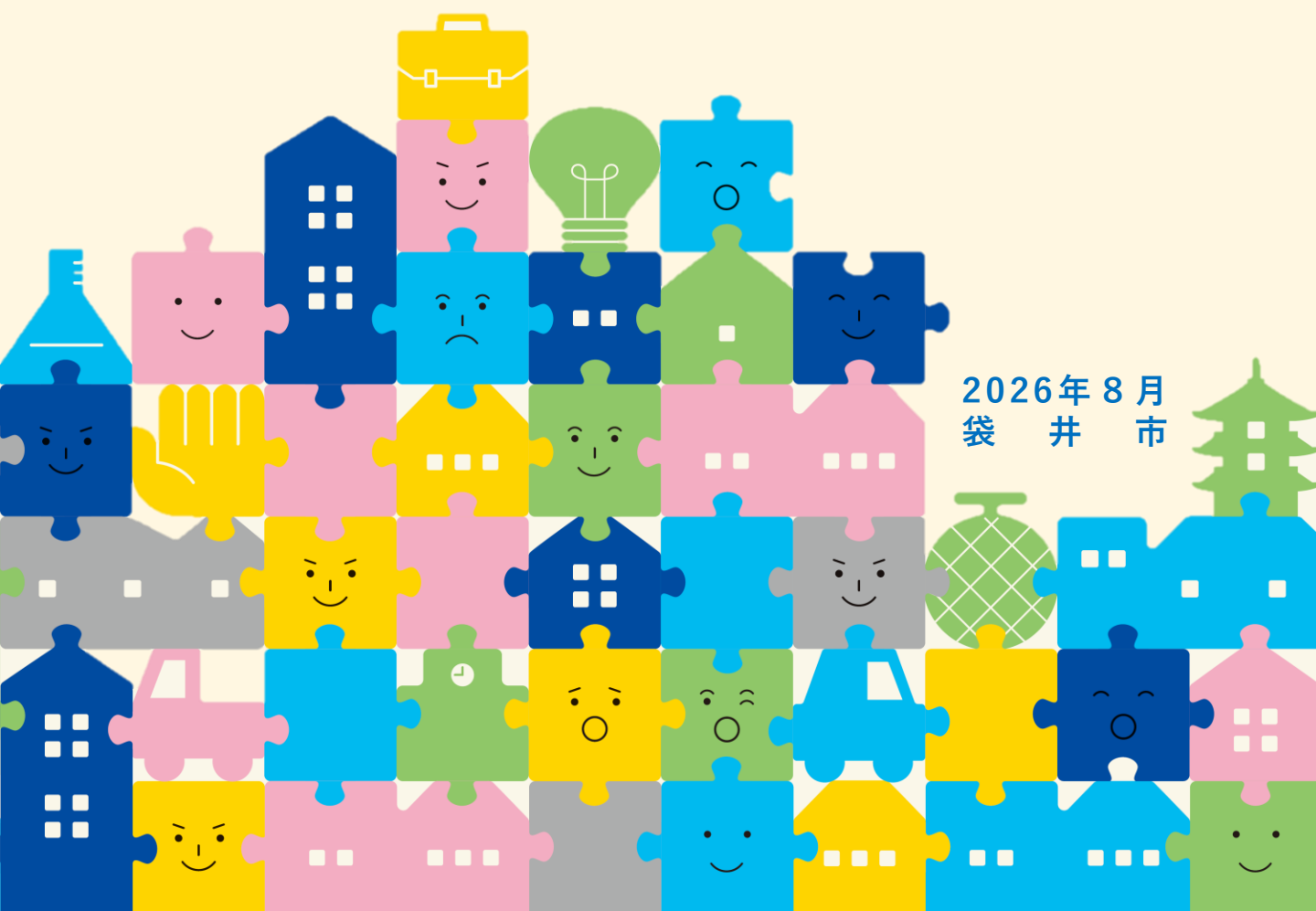


第2期輝く“ふくろい”
まち・ひと・しごと創生総合戦略

やらまいか REPORT2026

～2025年度進捗状況報告書～



2026年8月
袋井市

第1章	全体のまとめ	3
第2章	人口動態	4
第3章	総合戦略〔3つの挑戦／政策パッケージ〕	6
挑戦1	「ふくろい人」ひとづくりへの挑戦	8
挑戦2	「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦	14
挑戦3	「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦	20
第4章	戦略を支える取組	26
第5章	地方創生交付金の活用状況など	28

1 人口動態の概要

- (1) 本市の人口は、2026年4月1日現在で**87,065人（前年比▲570人）**となり、人口ビジョンで設定した**政策達成シナリオ（目標人口）**を初めて下回るなど、本格的な人口減少局面に突入した。
- 自然増減については、婚姻・出産控えの傾向が続いており、**出生数がこのペースで減少すると2026年の年間出生数は500人を下回る可能性がある**。また、**死亡数は約1,000人に迫り**、自然減に歯止めが掛からない状況である。
- 社会増減については、昨年度から61人増加しているが、その内実は、日本人が230人減で転出傾向にあり、一方、外国人が291人増で転入傾向にあるなど、**日本人の減少を外国人の増加によって補っている状況**にある。
- (2) 子育て世帯の転出入は、**近隣市町のほとんどで転出超過**となっている。
- (3) 人口減少が進む一方で、合計特殊出生率や他市町と比較した減少率などは、**相対的に優位な状況**にある。

2 総合戦略（政策パッケージ）の概要

よくできました
(5~4.5点) 

いい調子です
(4.4~3.5点) 

もうひと踏ん張り
(3.4~2.5点) 

もっとがんばろう
(2.4~0点) 

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口の実現や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「適応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

挑戦1 「ふくろい人」人づくりへの挑戦

- **新しい時代を生き抜く人づくり**として、ICT機器更新やデジタル学習ドリルの活用、ALTの配置等により、自ら考え学び行動する人材の育成を推進するほか、「アース・キッズ事業」や「お仕事体験」等を通じて、地域との連携を深め、郷土愛や地元への理解促進を図った。
- **産業や社会を支える人づくり**として、市内県立高校等との連携協定に基づき、探究の時間等を通じて地域の産業や文化への理解を深めるとともに、静岡理工科大学との連携により、各種講座やワークショップを開催し、産学官連携による産業・地域を担う人材育成を推進した。
- **挑戦する人を応援する土壌づくり**として、ビジネスプランコンテストや創業支援等により、地域貢献意欲のある人材の想いを形にし、「やらまいか」風土の醸成に努めた。

評 価



いい調子です

(3.6点)

挑戦2 「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦

- **新たな産業と地域社会づくり**として、コワーキングスペース「BIRDS（バーズ）」の設置運営による起業環境の創出とネットワーク構築に取り組むとともに、スマート農業、AI活用、スマートライティングシステム等の近未来技術の社会実装を推進した。
- **稼げる農業づくり**として、クラウンメロンの海外市場調査や袋井産ほうじ茶飲料の製造販売等を通じて、更なる販路拡大と付加価値向上に取り組んだ。
- **「ふくろい」ならではの暮らしづくり**として、「海辺の駐車場」等の整備や「アイドルマスター SideM」とのコラボ等を通じて、本市の魅力の磨き上げと関係人口の拡大に取り組んだ。

評 価



いい調子です

(4.1点)

挑戦3 「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦

- **人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」**として、「官民共創の基盤づくり推進事業」の実証成果をもとに、より実践的な官民の互恵的な共創関係の構築に取り組んだ。
- **支え合う多様な仲間づくり**として、コミュニティセンターを核とした地域コミュニティの維持・活性化に向けて、「特色ある地域づくり交付金」によるまちづくり協議会の活動支援や、LINE公式アカウントを活用した情報発信を行い、互助・共助の体制づくりを推進した。
- **多様性を強みとするまちづくり**として、多文化共生情報紙の発行やセミナー、イベント等を通じて外国人市民との相互理解を深めるとともに、市役所への「にじいろ階段」設置やLGBTQ+セミナー開催により、性の多様性への啓発と誰もが活躍できる共創社会の実現に取り組んだ。

評 価



もうひと踏ん張り

(2.9点)

3 総合計画審議会の意見（今後、地方創生を推進する上で配慮すべき点）

- 「強い地域経済」を実現するためには、人口減少下であっても地域産業や消費を下支えする人の環境改善を図ることが重要となる。高齢者の就労を支える仕組みや若者・女性・外国人が活躍できる環境の構築、AI等のデジタル技術を活用した生産性の向上など、労働力不足を補いながら付加価値を高める取組のほか、関係人口づくりなど戦略的かつ中長期的な視点で地域経済の自立性の向上を図る取組を推進すること。
- 「安心安全で豊かな生活環境」を実現するためには、社会インフラや買物・医療・介護・交通・物流等の公共・民間サービスの担い手の確保など、住民生活の基盤を引き続きどう支えていくかが喫緊の課題である。行政単独での取組には限界があることから、意欲と能力のある民間の力を活用した官民共創の取組により、まちの基盤づくりを推進すること。
- 「若者や女性に選ばれる地域」を実現するためには、袋井市ならではの暮らしの魅力に加え、多様な生き方が尊重されることで、若者や女性の希望が叶えられる地域になっていくことが重要である。男女共同参画や子育て、多文化共生などに関わるアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を減らすための教育や、まちの発展を「自分事」として捉えられる人材の育成など、市民性を磨く取組を推進すること。また、新たなまちの魅力や活力を創出していくためには、データに基づき本市の強みを明確化するとともに、従来にない要素同士の組み合わせによる高付加価値化を強く意識するなど、多彩な地域資源を活用した交流拡大を図る取組を推進すること。

1 現状と課題

(1) 本市の人口は、2026年4月1日現在で**87,065人**（前年比▲570人）となり、人口ビジョンで設定した**政策達成シナリオ（目標人口）**を初めて下回るなど、本格的な人口減少局面に突入した。

自然増減については、婚姻・出産控えの傾向が続いており、**出生数がこのペースで減少すると2026年の年間出生数が500人を下回る可能性がある**。また、**死亡数は約1,000人に迫り**、自然減に歯止めが掛からない状況である。

社会増減については、昨年度から61人増加しているが、その内実は、日本人が230人減で転出傾向にあり、一方、外国人が291人増で転入傾向にあるなど、**日本人の減少を外国人の増加によって補っている状況**にある。

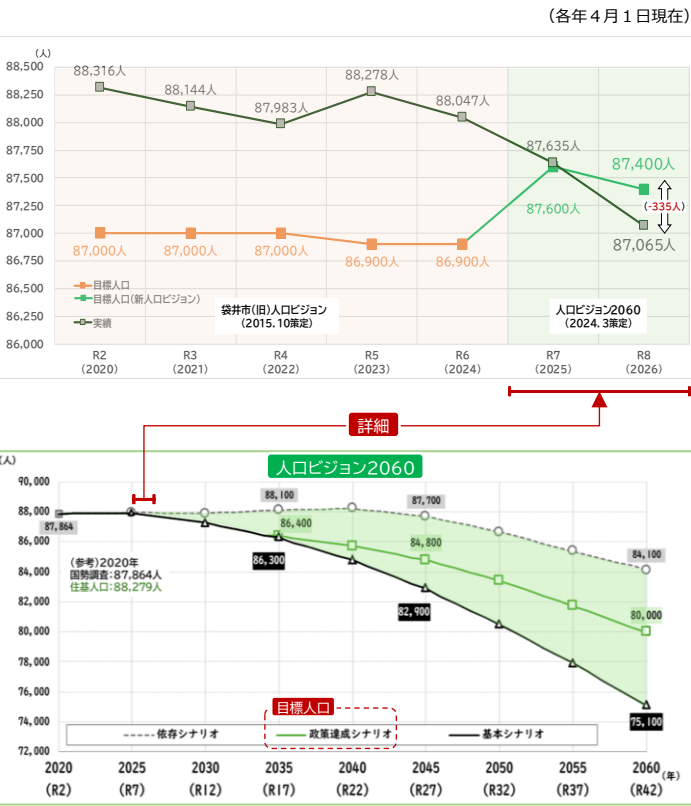
(2) 子育て世帯の転出入は、**近隣市町のほとんどで転出超過**となっている。

(3) 人口減少が進む一方で、合計特殊出生率や他市町と比較した減少率などは、**相対的に優位な状況**にある。

2 人口推計

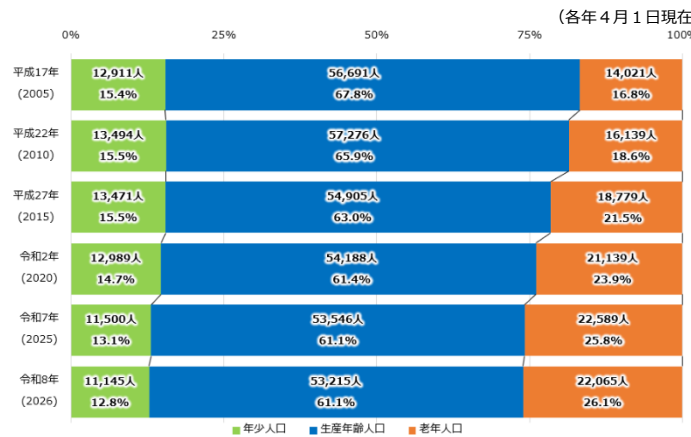
(1) 人口推移

2023年から人口減少が続いている（2026年は前年比▲570人）
2026年に初めて目標人口を下回った（目標人口▲335人）



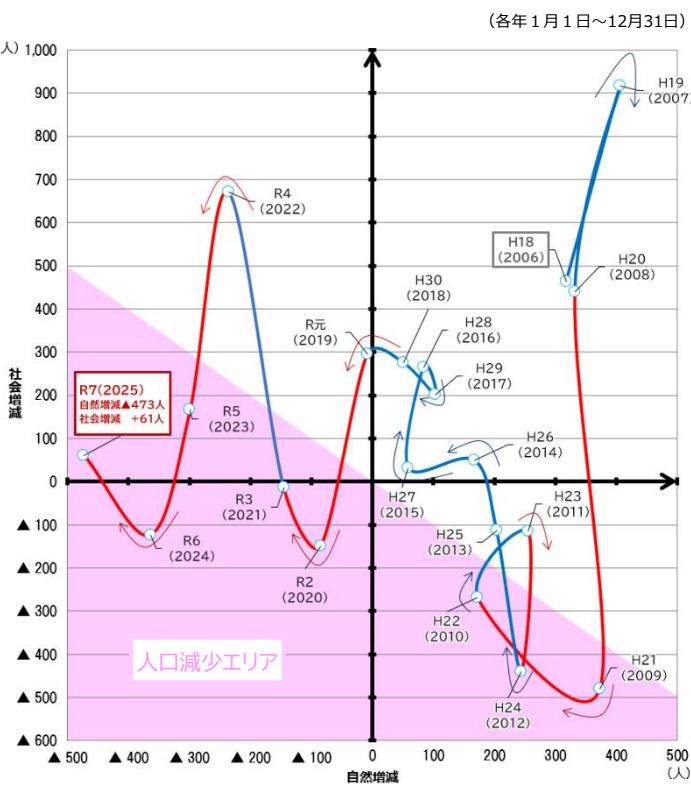
(2) 3区分別人口の推移

過去20年間で老年人口割合は16.8%から25.8%に増加しており
2026年4月現在で前年比年少人口▲0.3㉿、老年人口+0.3㉿



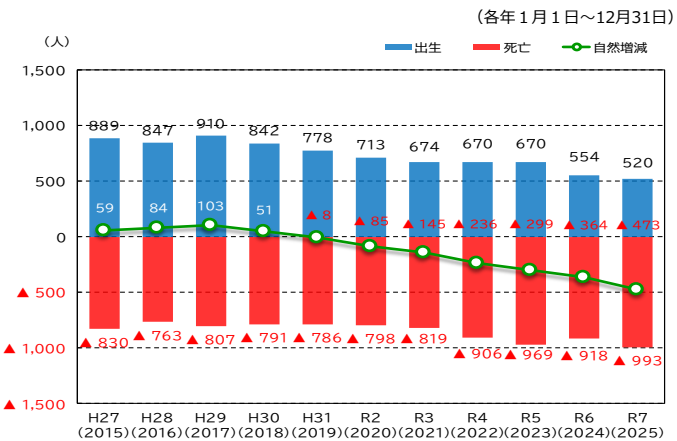
(3) 自然増減と社会増減

自然減 (▲473人) は2006年以降最多で、社会増 (+61人) となっているものの全体としては412人減少している



(4) 自然増減の推移

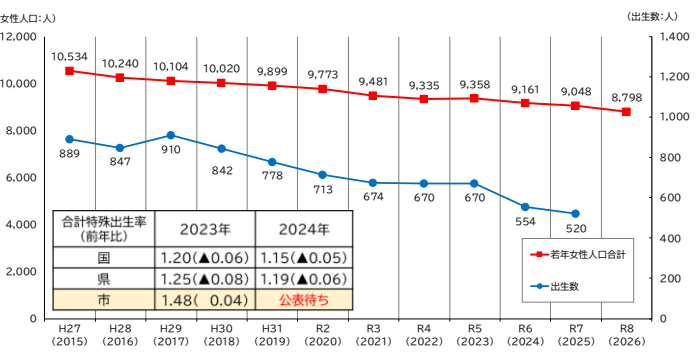
出生数は520人（前年比▲34人）で減少傾向、
死亡者数は993人（前年比+75人）で増加傾向が続いている



3 出生に関する状況

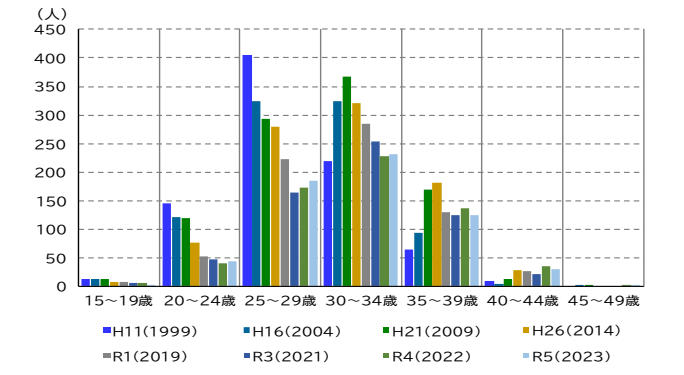
(1) 若年女性人口と出生数の推移

若年女性人口は、2023年に増加に転じたものの、その後は減少傾向が続いている（2026年は前年比▲113人）



(2) 母親の5歳階級別出生数の推移

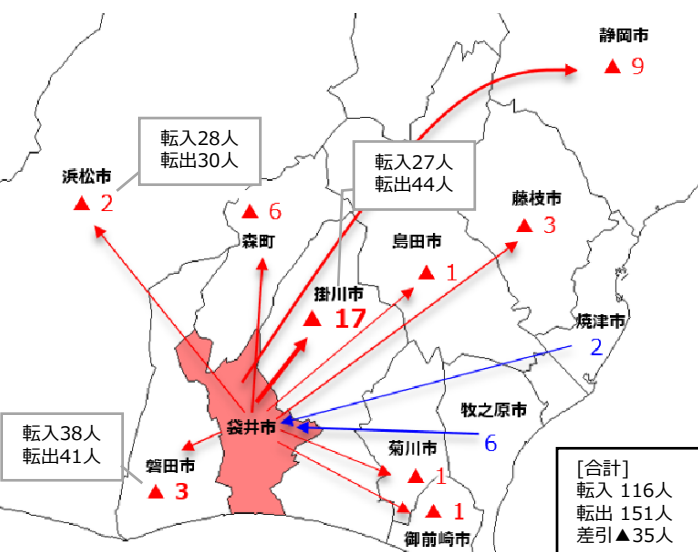
20歳代の出産は1999年から比較して4割程度まで減少、年代別では30～34歳の出産が最多で晩産傾向が続いている



4 子育て世代の動向

(1) 子育て世帯（0～9歳）の転出入状況

ほとんどの近隣市町で子育て世帯が転出超過となっている（2025年1月1日～12月31日）



(2) 5歳階級別増減人数

35～49歳の子育て世帯が転出超過となっている一方で、20歳代を中心に転入超過となっている

		R3	R8	増減
年少	0～4歳	3,801	2,951	-
	5～9歳	4,413	3,759	▲42
	10～14歳	4,597	4,435	22
	15～19歳	4,320	4,501	▲96
生産年齢	20～24歳	4,328	4,538	218
	25～29歳	4,644	4,601	273
	30～34歳	5,309	4,675	31
	35～39歳	6,094	5,285	▲24
	40～44歳	6,422	6,070	▲24
	45～49歳	6,753	6,394	▲28
	50～54歳	5,673	6,634	▲119
	55～59歳	4,946	5,669	▲4
	60～64歳	5,269	4,848	▲98
	65～69歳			

5 他市町との比較

(1) 令和7年国勢調査（速報値）

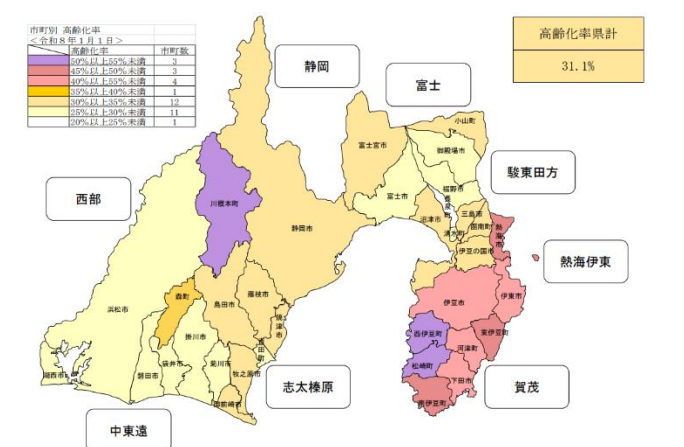
前回行った令和2年国勢調査（確定値）と比較して、全市町で人口が減少しているものの、本市は県内23市で最も減少数・減少率が低い

減少数（人）			減少率（％）		
1	静岡市	▲33,769	1	川根本町	▲14.3
2	浜松市	▲24,968	2	西伊豆町	▲14.2
3	沼津市	▲9,948	3	松崎町	▲13.4
4	富士市	▲8,920	4	下田市	▲11.2
5	富士宮市	▲7,599	5	南伊豆町	▲11.0
...	...	...	...	...	...
7	磐田市	▲6,124	29	磐田市	▲3.7
...	...	...	30	浜松市	▲3.2
14	掛川市	▲3,292	...	...	...
...	...	...	32	掛川市	▲2.9
...	...	...	...	...	...
26	袋井市	▲1,267	34	袋井市	▲1.4

出典: 令和7年国勢調査 静岡県の人口(速報値)(2026.5.29時点)

(2) 県内高齢化率調査

県の高齢化率は過去最高の31.1% ※袋井市=25.9%（県内23市で一番「若いまち」）



出典: 静岡県高齢者福祉行政の基礎調査(2026.4.1時点)

（3つの挑戦）	（戦略の柱と施策の方向性）
（挑戦1） 「ふくろい人」 ひとづくりへの挑戦 次代の袋井を支えるために学び、挑戦する人材を地域ぐるみで育て、呼び込む環境づくりに挑む	1－1 新しい時代を生き抜く人づくり 技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。
	1－2 産業や社会を支える人づくり 技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。
	1－3 挑戦する人を応援する土壌づくり 高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。
（挑戦2） 「しっかり稼ぐ」 しごとづくりへの挑戦 新技術や地域資源の活用により生産性の向上と生活の豊かさを両立する「ふくろい」ならではの暮らしの実現に挑む	2－1 新たな産業と地域社会づくり Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。
	2－2 稼げる農業づくり 本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。
	2－3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり 市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力を伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。
（挑戦3） 「支え合い」 誰もが活躍するまちづくりへの挑戦 人生100年時代に全ての世代、外国人市民、誰もが元気に役割をもって活躍できる社会・地域の仕組みづくりに挑む	3－1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」 世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。
	3－2 支え合う多様な仲間づくり 高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。
	3－3 多様性を強みとするまちづくり 外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組や環境整備を進める。

(主な取組)

(SDGs)

- 「確かな学力」向上プロジェクト（GIGAスクール構想、幼小中一貫教育ほか）
- 地域とともにある学校づくりプロジェクト
（コミュニティ・スクール推進事業、地域住民による放課後学習支援ほか）



- 高校魅力化プロジェクト(探究的な学び、職業教育の高度化ほか)
- 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト
（新たな学科開設支援、デジタル人材等の育成ほか）



- ふくろい「やらまいか」プロジェクト
（アイデア創出支援、リカレント教育、創業・事業承継ほか）
- 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト
（大会誘致、大会出場奨励制度、総合型地域スポーツクラブとの連携ほか）



- 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト
（産業イノベーションセンター設置、魅力ある個店づくりほか）
- 近未来技術等の社会実装プロジェクト
（エコパドリームプロジェクト、スマート自治体、スマートライフ推進ほか）



- 農業の未来を創るプロジェクト
（スマート農業の推進、担い手育成、地産地消の推進ほか）
- 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト
（販路開拓支援、付加価値向上支援、多様な販売モデルの推進ほか）



- 観光ビジネス創出プロジェクト
（新たな商品（観光ツアー）開発、スポーツイベントの開催支援ほか）
- ふくろいファンづくりプロジェクト
（SNSを活かした情報発信、ふるさと納税促進ほか）



- 生涯活躍のまちづくりプロジェクト
（人生100年時代の地域経営のあり方（仮称）の研究、健康経営の推進、高齢者の多様なニーズに応じた就労機会確保ほか）



- 支え合い・つながり創出プロジェクト
（まちづくり協議会の活動支援、NPOや市民活動団体の活動・連携支援、ICTを活用したコミュニティ形成の支援ほか）



- 「共創社会」加速化プロジェクト
（外国人市民への支援、男女共同参画社会の推進、子育てと仕事の両立支援障がい者への理解と地域の交流の支援ほか）



1-1 新しい時代を生き抜く人づくり

技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。

(1) 「確かな学力」向上プロジェクト

市内小中学校においては、学習用 I C T 機器の更新を行い、「デジタル学習ドリル」を活用した効率的な学習を継続して推進するとともに、「外国語指導助手（A L T）」の配置や小中学生を対象とした「イングリッシュ・デイキャンプ」の実施など、社会の国際化が進む中、自ら考え、学び、行動する力を持った人材育成に取り組んだ。

今後の課題は、**教育データの利活用による学びの更なる充実**であり、デジタル学習ドリルの利用状況等を踏まえつつ、I C T 等を活用した「個別最適な学び」と対話や議論を大切にした「協働的な学び」を推進し、予測困難な時代を生き抜く人づくりにつなげていく。

主な取組

・デジタル学習ドリルの導入と活用【教育企画課・学校教育課】

未来の教育実証研究を踏まえ、こどもたちの「個別最適な学び」の促進と「学びの保障」につなげるため、一人ひとりに合った学習問題が出題されるデジタル学習ドリルを導入。小学校は2年生以上に「ドリルパーク」、中学校は全学年に「Qubena（キュービナ）」を導入している。

・小中学校英語力向上【学校教育課】

イングリッシュ・デイキャンプ：市内在住の小学校3～6年生及び中学生の希望者を対象として実施
 [開催日] 8/5 [場所] 袋井市教育会館 [参加者] 44人
 [開催日] 8/6 [場所] 山名コミュニティセンター [参加者] 26人
 [開催日] 8/7 [場所] 浅羽北コミュニティセンター [参加者] 20人

英検チャレンジ：英語を学習する子どもを応援するため、英検受験費用の一部を市が負担
 [開催日] 9/27、1/17 [会場] 市内4中学校
 [受験者] 712人（小学生126人、中学生586人）
 2級 21人、準2級 87人、3級 264人、4級 213人、5級 127人

外国人指導助手（ALT）派遣：市内小中学校にALTを配置



イングリッシュ・デイキャンプ

(2) 地域とともにある学校づくりプロジェクト

市内小学校での「アース・キッズ事業」や「出前ECO教室」の開催、「小学生のお仕事体験」の実施など、地域が学校との関わりを持ち、郷土を愛する心を育むほか、地元で暮らすことの魅力、地元企業の魅力等が子どもたちに浸透するような取組を推進した。

今後の課題は、**学校と地域の更なる連携強化や地域住民のやりがいづくり**であり、学校や地域が関りやすくなるような仕組みを整え、地域住民のやりがいや居場所づくりにもつなげていく。

主な取組

★ = 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

・環境教育の推進【環境・リサイクル推進課】

アース・キッズ事業：市内小学校6校にて実施
 [参加者] 小学5・6年生374人 [CO₂削減量] 631.3kg

出前ECO教室：市内小・中学校にて13回実施 [参加者] 992人
 市民団体にて32回実施 [参加者] 1,186人

エコパを活用した環境教育：市内小学校11校にて実施 [参加者] 732人

・まちじゅう図書館の推進【生涯学習課】

市立図書館と学校図書館との連携、電子図書館の導入など、まち全体で図書館機能を担う仕組みによる読書活動の推進

★小学生のお仕事体験【産業未来課】

袋井市内の小学4～6年生28人に対し、子どもたちの職業観や就労意欲を高めるため2日間で開催



アース・キッズ事業



小学生のお仕事体験

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合(小6:国語・算数、中3:国語・数学) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値 50.0 (2019)	50.0 中止	75.0 0	75.0 0	100.0 25.0	100.0 0	100.0 50.0	
英語検定3級相当以上の資格を有する生徒の割合(中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値 18.5 (2019)	23.0 25.3	27.0 23.9	31.0 23.6	35.0 22.3	40.0 28.9	40.0 29.7	
「授業がよく分かる」と答える児童・生徒の割合(小5～中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値 85.0 (2019)	87.0 87.6	89.0 86.0	91.0 90.0	93.0 88.0	93.0 87.0	93.0 89.0	
「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合(小6・中3) [↑] 【出典:総合計画、教育企画課】	%	目標値 78.4 (2019)	90.0 78.3	80.0 74.1	81.0 76.3	82.0 76.6	83.0 74.8	84.0 79.0	
「地域の行事に参加している」と答える児童・生徒の割合(小6・中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値 86.0 (2019)	88.0 72.7	90.0 76.6	92.0 74.4	94.0 72.8	95.0 82.8	95.0 集計不可 (調査終了)	—
家庭教育学級・少年学級・地域青少年育成団体の参加者数 [↑] 【出典:総合計画、生涯学習課】	人	目標値 900 (2020推計)	900 842	900 960	950 1,006	950 885	1,000 843	1,000 856	
親スキルアップ講座の参加者の満足度 [↑] 【出典:総合計画、こども政策課】	%	目標値 90.0 (2019)	91.5 99.1	93.0 99.1	94.5 99.8	96.0 98.7	97.0 98.0	98.0 100.0	
歴史資料館(郷土資料館・歴史文化館・近藤記念館)の利用者数 [↑] 【出典:総合計画、文化観光交流課】	人	目標値 17,000 (2019推計)	17,800 20,315	17,400 17,827	17,600 18,584	17,800 19,044	18,000 17,555	18,200 17,881	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
よくできました		目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
いい調子です		目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
もうひと踏ん張り		70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
もっとがんばろう		基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価



3.1点

TOPICS

平和について学んだことを 自分たちの言葉で伝える！

市内4中学校の代表生徒10名が、「広島平和記念式典」や「全国平和学習の集い」などに参加して得た学びを事後学習で深めるとともに、「戦没者戦災死者追悼・平和祈願式」で成果を発表するなど、平和を願う意識を高めました。



1-2 産業や社会を支える人づくり

技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。

(1) 高校魅力化プロジェクト

自らが生まれ育った地域のことを知り愛着を持つことが、将来的なUターンや地域の将来を支える人材の確保につながることから、市内県立高校や特別支援学校との連携協定に基づき、袋井高校における「総合的な探究の時間」や袋井商業における地域企業や大学等との連携・協働による「実践的な職業教育」など、地域の産業や文化等への理解を深める取組を実施した。

今後の課題は、地域や社会が求める人材を育成する魅力ある学校づくりであり、地域、産業界と高校・大学等との連携を強化した「魅力ある学びの場づくり」に取り組んでいく。

主な取組

★ = 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

・袋井高校、袋井商業、特別支援学校との連携事業【ブランド戦略課】

袋井高校：総合的な探究の時間（自ら地域のことを調べ、課題と解決策を探る取組）
成果発表会【開催日】2/12【出席】企画政策課、産業未来課、市内民間事業者ほか

袋井商業高校：防災かるた作成協力（袋井土木事務所主催）

特別支援学校：無印良品ノブレスパルク袋井店との連携事業
【開催期間】9/5・9、1/13・16・20
【実施内容】学校紹介パネルや作業製品の展示・販売、清掃活動

★ 青少年指導者養成事業【生涯学習課】

高校生リーダー講座（全3回）：【日程】12/20、1/24、2/8【参加者】21人
地域リーダー講座（全1回）：【日程】2/7【参加者】72人



市内高校・特別支援学校連絡調整会議

(2) 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト

持続可能な社会づくりに向けては、産学官が連携し、産業や地域を担う人材を育成する必要があることから、静岡理工科大学や静岡文化芸術大学と連携し、各種講座やワークショップなどを開催したほか、静岡文化芸術大学と「うみてらすDORIエリア」の利活用と保全に関するワークショップなどでの連携を図った。

今後の課題は、市民、企業、大学、行政の実践的な取組における更なる連携強化であり、「地域学講座」や「海のにぎわい創出プロジェクト」などの取組を通じて、市、大学、地元企業等との連携強化と新たな交流機会の創出を図り、産業や地域を担う人材育成に取り組んでいく。

主な取組

★ = 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

・静岡理工科大学との連携事業【ブランド戦略課、生涯学習課、産業未来課】

地域学講座：「〇〇で袋井に人を呼び込む」をテーマに開催
フィールドワークやグループワークを通じて、袋井市の現状や課題を把握し、学生目線で袋井市に人を呼び込むための方策を検討し、提案を行った。
【開催日】8/6・7・15・18【参加者】18人（大学生14人、市職員4人）
学術交流振興基金活用事業：市民体験入学や公開講座、小学生を対象とした実験講座「お理工塾」、中学生プログラミング教室、アートとメディアをキーワードにしたワークショップ、次世代人材育成交流プログラム@SISTなど40回開催
【参加者】延べ682人

★ふくろい産業イノベーション推進事業：
コワーキングスペース「BIRDS Coworking×FUKUROI」の設置運営

★ 静岡文化芸術大学連携【維持管理課】

幸浦の丘プロジェクトワークショップ事業：
うみてらすDORIエリアの利活用と保全に係るワークショップ

・高校生と企業を結ぶ合同企業説明会【産業未来課】

【開催日】3/19【参加企業】70社【参加者】251人（高校2年生）

・いわた・ふくろい就職フェア【産業未来課】

【開催日】2/9【参加企業】40社【参加者】31人（R8.3以降卒業予定の大学、短大、専門学校生等）



小学生対象実験講座「お理工塾」



いわた・ふくろいJOB PARK
（いわた・ふくろい就職フェア）

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」及び「いわた・ふくろい就職フェア」への市内参加企業数〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	社	目標値	31	32	34	36	38	40	
		31 (2018)	23	32	33	33	34	43	
市内高校及び大学の就業率〔↑〕 【出典：産業未来課】	%	目標値	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	
		97.8 (2014-2018平均)	98.7	98.0	98.2	98.2	97.3	98.3	
理工科大学との協働活動の実施件数（累計） 〔↑〕 【出典：ブランド戦略課】	件	目標値	5	7	9	12	15	27	
		3 (2018)	7	11	15	21	28	34	
市民を対象にした学習機会数〔理工科大学主催〕 〔↑〕 【出典：生涯学習課】	回	目標値	38	38	39	39	40	45	
		37 (2019)	14	25	32	33	31	40	
高校生と協働した事業・イベント数（累計） 〔↑〕 【出典：ブランド戦略課】	回	目標値	2	4	6	8	10	23	
		4 (2019)	4	8	11	17	25	40	
地域防災への高校生の参加者数〔↑〕 【出典：危機管理課】	人	目標値	1,900	1,950	2,000	2,050	2,100	2,150	—
		1,902 (2019)	0 ※役員のみ	未実施	1,902	2,022	2,029	集計不可 (様式変更)	

評価基準	評価	評価基準			総合評価 4.6点
		達成度※1		総合評価※2	
	よくできました	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点	
	いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点	
	もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点	
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点	

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

学生が描く！
「関係人口」でつなぐ地域の未来

静岡理工科大学との包括連携協定を契機に、学生がフィールドワークで得た知見をもとに地域課題の解決策を研究・発表する「地域学講座」を開講しています。

第12回目となる2025年度の講座では、人口減少社会を前提とした地域活性化策を「住む・通う・訪れる」の3つのテーマで研究し、学生自ら関係人口の創出に関連する企画の発表を行いました。

静岡理工科大学「地域学講座」
～ 袋井に人を呼び込むための企画を発表 ～

若者の発意を活かす

人口減少社会を前提とした地域活性化に向けて「住む・通う・訪れる」の3つテーマから「関係人口の創出」に向けた課題解決を研究

1-3 挑戦する人を応援する土壌づくり

高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。

(1) ふくろい「やらまいか」プロジェクト

ビジネスプランコンテスト「FUKUROI BizCON-CROWN2025」の開催、セミナーや相談会などの創業支援に取り組むなど、新たなビジネスなどを通じて「地域に貢献したい」という意欲や能力を有した人たちの想いをカタチにするための支援の充実と、挑戦する人を応援する「やらまいか」風土の醸成に努めた。

今後の課題は、**新たなビジネスなどを通じた地域への貢献と、創業意欲を形にするための多様な主体による継続的な支援**であり、挑戦する人を応援し続けるまちを目指し、社会・経済情勢の変化に的確に対応しつつ、地域のニーズや実情に即した支援の在り方をさらに研究し、深化させていく。

主な取組

★ = 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

★創業支援の推進【産業未来課】

創業セミナー : [開催日] 7/5・19、8/2・9・23（前期5回）
10/4・26、11/1・15、12/6（後期5回）
[参加者] 延べ163人

創業相談会（個別相談） : [開催期間] 10月～2月 [相談者] 12人（全15回）
創業相談会（伴走支援） : [開催期間] 10月～2月 [支援者] 5人（全20回）

・市民活動団体やNPO法人等の活動支援【協働まちづくり課】

市民活動団体等の提案事業の協働実施 : 補助事業・連携事業として7事業実施
NPO法人化への支援 : 情報提供や認証申請等を支援
「ふらっと」の管理運営 : 活動情報発信、活動団体のマッチングの相談対応など

・ビジネスプランコンテスト開催事業【産業未来課】

[開催日] 3/14 [応募件数] 一般43件、学生15件
[最終結果] 一般 最優秀賞1件、学生 最優秀賞1件



FUKUROI BizCON-CROWN2025

(2) 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト

文化芸術やスポーツを通じた交流の拡大に向けて、子どもたちが文化活動の楽しさを体験できるよう大学と連携した創作体験ワークショップを実施したほか「スポーツ合宿の誘致」やアスリートを食でサポートする「袋井スポーツ飯」の開発、世界で活躍するアスリートとの交流機会の創出などに取り組んだ。

今後の課題は、**文化・芸術やスポーツに触れる機会の更なる創出**であり、文化・芸術活動やスポーツの振興を通じた、市民の参画や団体等との連携を促進するとともに、更なる交流人口の拡大を図り、暮らしの豊かさの創出に取り組んでいく。

主な取組

★ = 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

・スポーツツーリズム推進事業【スポーツ政策課】

袋井スポーツ飯の開発 : 市内飲食店が考案したメニュー（公認スポーツ栄養士監修）を1件認定。
スポーツ合宿の誘致 : 6件（延べ434泊）
[種目] エアロビクス、柔道、ソフトボール、サッカー、ピククルボール、ラグビー

・袋井クラウンメロンマラソン in ECOPA

市制施行20周年記念子メロン大会【スポーツ政策課】

3kmの部（小学生男・女/中学生男・女/ファミリー/ペア） : [開催日] 12/14 [参加者] 258人

・トップアスリート交流事業【スポーツ政策課】

宝くじスポーツフェア ドリーム・バレーボールin袋井の開催 :
バレーボール元日本代表選手12人によるバレーボール教室、フレンドリーマッチなどを実施
[参加者および来場者] 1,094人 [会場] さわやかアリーナ
FUKUROI SPORTS DAY 2025（15種目体験イベント【ラグビー、スケートボードなど】） :
[開催日] 11/16 [参加者] 約500人 [会場] さわやかアリーナ

★東京藝大交流事業【文化観光交流課】

「モザイク画でさわやかアリーナにパブリックアートをつくろう！」ワークショップ :
[開催日] 8/2・3 [参加者] 105人

★静岡理工科大学連携事業【文化観光交流課】

「いろ色deコラージュ」ワークショップ :
[開催日] 9/20・21 [参加者] 26人



東京芸大交流事業



宝くじスポーツフェア
ドリーム・バレーボールin袋井

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
協働まちづくりセンターの登録団体数（市民活動団体）〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値 53 (2018)	50 45	50 44	50 47	50 44	50 46	50 44	
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数〔↑〕 【出典：協働まちづくり課】	件	目標値 11 (2018)	10 1	8 8	9 12	10 13	11 6	12 9	
協働まちづくり事業の提案件数（累計）〔↑〕 【出典：協働まちづくり課】	件	目標値 17 (2019)	27 23	37 30	47 40	56 51	65 60	75 67	
全国スポーツ大会の出場者数（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、スポーツ政策課】	件	目標値 59 (2019)	90 18	62 62	126 118	192 178	260 223	330 273	
市内の運動施設の利用者数（エコパを除く）〔↑〕 【出典：総合計画、スポーツ政策課】	人	目標値 551,962 (2019)	750,000 487,943	605,000 583,346	610,000 692,561	615,000 741,335	620,000 775,139	625,000 757,681	
図書館の個人貸出利用者数〔↑〕 【出典：総合計画、生涯学習課】 ※2024より、電子図書館ログイン延人数を含む	人	目標値 136,631 (2018)	150,000 138,965	140,000 150,172	141,500 150,239	143,000 134,116	144,500 152,271	146,000 195,846	
月見の里学遊館（水玉プール除く）とメロープラザの利用者数〔↑〕 【出典：総合計画、文化観光交流課】	人	目標値 157,744 (2018)	200,000 59,935	128,800 89,178	144,800 116,166	161,400 88,489	161,900 121,678	162,400 125,375	
全国文化芸術大会出場者数（累計）〔↑〕 【出典：文化観光交流課】	人	目標値 4 (2019)	10 5	15 8	20 11	25 15	30 20	35 28	

評価基準	評価	評価基準	
		達成度※1	総合評価※2
	よくできました 	目標値以上	5点
	いい調子です 	目標値未満～70以上	4点
	もうひと踏ん張り 	70未満～基準値	3点
	もっとがんばろう 	基準値未満	1点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価



3.1点

TOPICS

スポーツのチカラで地域の未来を築く
静岡産業大学と包括連携協定！

スポーツ科学部と経営学部を擁する静岡産業大学と包括連携協定を締結しました。今後は大学の知的・人的資源を活かし、スポーツを核とした地域振興に連携して取り組んでいきます。



2-1 新たな産業と地域社会づくり

Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官金連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。

(1) 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト

多様な主体の連携の下、新産業創出に向けた「エコシステム創出拠点」として、コワーキングスペース「BIRDS Coworking×FUKUROI」の設置運営を行い、起業を志す者と首都圏のスタートアップや市内外の意欲的な事業者等との新たなネットワークの構築を促し、起業しやすい環境の創出に取り組んだ。

今後の課題は、**社会潮流の変化への対応と中小企業の成長をいかに結びつけることができるか**であり、産学官金が連携し伴走型の企業支援に取り組んでいくほか、新たなイノベーション喚起に向け、スタートアップ企業と地元企業のマッチングを促進し、地域や事業所が抱える課題解決を図るとともに、地域内取引の拡大を促すよう取り組んでいく。

主な取組

★ = 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

★ふくろい産業イノベーション推進事業【産業未来課】

コワーキングスペース「BIRDS Coworking×FUKUROI」の設置運営：

【会員数】 57名 【訪問者数】 年間784人
【イベント実施件数】 13件 【公式LINE登録者数】 123名

企業と大学教員との技術相談

：【相談数】 22件

企業と大学との共同研究

：【研究件数】 2件

ふくろい産業イノベーションピッチ：【開催日】 12/17 【参加者】 60人（発表者6人）

静岡理科大学スタートアップサークル「イノベーションキャンプ」の開催：

4グループに分かれて発表など
（うち1グループが袋井ビジコン最終審査へ出場）

【開催日】 10/25 【参加者】 26人（うち、静岡理科大学 学生11人）

★ふくろい観光ルネッサンス事業【文化観光交流課】

観光ブランド推進事業、サイクリングマップ『Fukuroi Cycling Life』の作成、夜宵プロジェクト

★【再掲】創業支援の推進【産業未来課】

創業セミナー

：【開催日】 7/5・19、8/2・9・23（前期5回）
10/4・26、11/1・15、12/6（後期5回）
【参加者】 延べ163人

創業相談会（個別相談）：【開催期間】 10月～2月 【相談者】 12人（全15回）

創業相談会（伴走支援）：【開催期間】 10月～2月 【支援者】 5人（全20回）

・中心市街地等空き店舗対策事業【産業未来課】

空き店舗対策事業補助金：【交付件数】 継続5件、新規5件



コワーキングスペース
「BIRDS Coworking×FUKUROI」



サイクリングマップ
「Fukuroi Cycling Life」

(2) 近未来技術等の社会実装プロジェクト

近未来技術の社会実装に向けて、本市がこれまで無線技術等を活用し進めてきたスマート農業の更なる推進のほか、AIを活用した市内事業所での姿勢診断の実施、民間企業との連携によるスマートライティングシステム（無線機能付き照明灯）を活用した実証事業など、デジタル技術の活用により、幅広い分野で実証等を実施した。

今後の課題は、**急速に進展する革新的技術をいかに地域課題解決に活用していけるか**であり、関係企業や各種団体と連携し、新たな技術を組み入れたサービスの社会実装に向けた取組を実施・支援していく。

主な取組

・スマート農業の推進【デジタル政策課・農政課】

水田水管理に加え、新たに製茶業や施設園芸の分野など複数業種に発展しつつ、官民共創により取組を進める事業パッケージを構築。総務省補助事業の獲得や事業マネジメントを支援し、デジタルを活用した地域農業の効率化と高品質化の実現を推進した。

・AIを活用した姿勢診断の実施【健康未来課】

市内10事業所で最先端AI姿勢分析システム「シセイカルテ」を用いた従業員の姿勢診断を実施。

【参加事業所】 10事業所 【参加者】 延べ388人

・スマートライティングシステムを活用した実証事業【維持管理課】

ミネベアミツミ(株)との連携協定による実証事業。

LED照明灯1,303基に搭載した同社のスマートライティングシステムを活用し、協働で防災減災対策や社会的な課題解決に向けた検証を行った。



スマートライティングシステム
を活用した実証事業

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	億円	目標値 5,880 (2017)	5,880 (2019)	5,960 (2020)	6,040 (2021)	6,130 (2022)	6,200 (2023)	6,600 2月頃 公表	—
企業立地件数（製造業）（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 1 (2018)	2 1	4 4	6 5	8 6	10 7	12 8	
静岡理工科大学と市内企業の共同研究件数（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 5 (2018)	5 1	10 6	15 22	20 33	25 40	30 42	
経営革新計画の承認件数（製造業）（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 2 (2018)	7 13	14 18	21 30	28 32	35 36	42 43	
市、商工団体、金融機関の支援による創業件数（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 41 (2018)	45 47	90 85	135 163	180 210	225 275	270 348	
よろず支援拠点への相談件数（袋井市）（累計）〔↑〕 【出典：産業未来課】	件	目標値 154 (2018)	154 236	308 415	462 511	616 682	770 調査不可 (拠点閉鎖)	920 —	—
卸売業・小売業及び宿泊業・飲食サービス業の売上（収入）金額〔↑〕 【出典：産業未来課】	億円	目標値 2,397 (2016)	2,400 2,397	2,400 2,397	2,500 3,091	2,500 3,091	2,500 3,091	2,500 3,091	
満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合〔↑〕 【出典：市民意識調査】	%	目標値 26.8 (2018)	30.0 36.3	35.0 42.8	40.0 39.1	45.0 37.8	50.0 38.6	50.0 36.5	
近未来技術等を活用した実証事業数（累計）〔↑〕 【出典：デジタル政策課】	件	目標値 5 (2019)	7 4	9 8	11 11	13 12	15 13	16 17	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
	よくできました 	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です 	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り 	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう 	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

総合評価



4.4点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

電動モビリティで巡る 観光の新しいカタチ！

電動モビリティのシェアリングサービスを観光の移動手段として活用するため、株式会社愛ノ宮トラベルおよび袋井市観光協会とパートナーシップ協定を締結しました。

今後は市内の観光施設間の移動手段として電動モビリティを導入・活用し、誘客促進や観光滞在時間の延伸に取り組めます。



2-2 稼げる農業づくり

本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。

(1) 農業の未来を創るプロジェクト

農業が魅力ある産業として持続するため、高い意欲と経営感覚を持った担い手を育成することを目的に、農業経営に関する現状の分析と経営の改善方法を学ぶ「ふくろい農業未来塾」を引き続き開催するほか、「荒廃農地再生・集積促進事業費補助金」による荒廃農地の再生と利活用の推進にも努めた。

今後の課題は、**農業者の経営力強化や担い手の確保をはじめ、生産性の向上等**であり、引き続き、県やJAなどと連携を図り、本市の持つ「農」の魅力を「新茶フェア」などのイベントにより発信するほか、SNSを通じた情報発信などにより、担い手の確保につなげるとともに、スマート農業などの取組を通じて生産性の向上に取り組んでいく。

主な取組

・担い手農業者育成支援【農政課】

農業次世代人材投資資金交付事業 : [交付件数] 2件
新規就農者総合育成対策（経営開始資金） : [交付件数] 7件
袋井市クラウンメロン経営継承支援事業交付金 : [交付件数] 2件

・耕作放棄地の解消【農政課】

荒廃農地再生・集積促進事業費補助金（再生作業…市1/2、施設補完整備…市1/4） :
[解消面積]約103a
農業者6経営体、浅羽北地区で27a、笠原地区で37a、浅羽西地区で10a、浅羽南地区で29a
現地調査アプリ「ACTABA」：タブレット端末を活用した農地の利用状況調査

・新茶フェア2025開催【農政課】

[開催日] 6/8 [会場] さわやかアリーナ [出店] 20茶工場

・学校給食への地場産品活用促進【おいしい給食課】

地産地消率 : [目標値] 33.0% [実績値] 40.0%
収穫体験 : [実施] 22件（小学校9校でたけのこ・グリーンピース・じゃがいも・キャベツなどを収穫）



新茶フェア2025

(2) 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト

拡大する世界の食市場や農に対する興味関心といった需要の取り込みに向けて、クラウンメロンの海外市場の調査や商談、新たな栽培技術の検証などを行うほか、引き続き、袋井産茶葉100%使用のほうじ茶ペットボトル飲料の製造販売に取り組んだ。

今後の課題は、**市場ニーズに合った商品の生産・流通・販売などの体制の構築**であり、更なる販路拡大に向け、農産品のブランド力強化による多産地との差別化や付加価値向上に向けた支援を実施していく。

主な取組

・ふるさと納税を通じたシティプロモーション事業【ブランド戦略課】

新規返礼品として、パナソニックの小型洗濯乾燥機のほか、各種コラボグッズ、トヨタユーゼック㈱GRガレッジ袋井店での愛車撮影券などに加え、ペットフードや化粧品などの返礼品バリエーションの展開に努め、計532種類を新たに追加した。また、ふるさと納税申込サイト内の特集ページや固定広告に加え、検索連動型広告、首都圏での出店イベントによるPR活動などを実施した。

・付加価値向上支援【農政課】

茶業支援対策事業費補助金 : [交付件数] 11件
クラウンメロン振興協議会補助金
袋井茶振興協議会補助金
ふくろいブランド米開発販売促進事業補助金

・6次産業化の促進【農政課】

6次産業化促進支援事業費補助金 : [交付件数] 5件

・主要農産物（温室メロン・茶・米）の振興【農政課、ブランド戦略課】

温室メロン：海外（香港、アメリカ等）での市場調査・商談
少量増地方式（ポット栽培）による新しい栽培技術の試験栽培、検証 など
茶 : ほうじ茶の新たな展開に向けた取組 など
米 : 経営所得安定対策等の実施による農家所得の向上 など



ふるさと納税返礼品の充実・強化
(GRガレッジ袋井店での愛車撮影)



メロンの新しい栽培方法

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
主要農産物産出額〔↑〕 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値 72.8 (2018)	72.2 66.0	71.9 70.7	71.6 70.4	71.3 71.6	71.0 70.7	72.0 78.0	
利用権設定面積〔↑〕 【出典：総合計画、農政課】	ha	目標値 978 (2018)	1,100 1,119	1,063 1,103	1,088 1,130	1,113 1,127	1,138 1,240	1,163 1,302	
農業法人数〔↑〕 【出典：総合計画、農政課】	法人	目標値 37 (2018)	40 36	39 37	40 39	41 39	42 39	43 47	
耕地面積〔↑〕 【出典：農政課】	ha	目標値 3,300 (2017)	3,300 3,200	3,300 3,170	3,300 3,130	3,300 3,110	3,300 3,090	3,300 3,060	
新規就農者数（累計）〔↑〕 【出典：農政課】	人	目標値 12 (2017)	12 12	24 21	36 30	48 40	60 49	72 54	
耕作放棄地の解消面積（累計）〔↑〕 【出典：農政課】	ha	目標値 11.2 (2018)	12 4	24 34	36 43	48 62	60 64	72 65	
お茶の出荷量（袋井地区農協共販実績）（累計）〔↑〕 【出典：農政課】	t	目標値 1,008 (2018)	1,000 1,043	2,000 2,030	3,000 3,007	4,000 4,123	5,000 4,949	6,000 5,908	
お茶の年間平均単価（袋井地区農協共販実績）〔↑〕 【出典：農政課】	円	目標値 657 (2019)	660 630	660 767	660 690	660 650	660 721	660 1,539	
お茶の海外輸出货量（累計）〔↑〕 【出典：農政課】	t	目標値 6 (2018)	6 1.8	12 2.3	18 7.3	24 17.5	30 23.4	36 34	
クラウンメロンの市場出荷箱数（1箱6個入）（累計）〔↑〕 【出典：農政課】	箱	目標値 277,831 (2018)	277,800 309,199	555,600 602,653	833,400 876,565	1,111,200 1,128,293	1,389,000 1,361,491	1,500,000 1,594,869	
クラウンメロンの年間平均出荷額（箱単価）〔↑〕 【出典：農政課】	円	目標値 11,026 (2018)	11,250 10,668	11,500 12,029	11,750 12,626	12,000 13,060	12,000 14,532	12,000 12,960	
クラウンメロン加工品取扱企業数〔↑〕 【出典：農政課】	社	目標値 53 (2018)	53 45	53 53	53 42	53 40	53 46	53 40	
学校給食における市内産野菜の使用率（重量ベース）〔↑〕 【出典：総合計画、おいしい給食課】	%	目標値 34.2 (2018)	33.0 33.1	33.0 44.7	33.0 40.0	33.0 42.0	33.0 32.5	33.0 40.0	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
	よくできました 	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です 	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り 	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう 	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

総合評価



4.1点

TOPICS

地元の食材を使った学校給食の提供！

本市は「日本一の給食」を目指し、市内農家と連携して新鮮な地元野菜を給食に取り入れる地産地消を推進しています。市制20周年を迎えた2025年度は、子どもたちに地元産の食材を通して郷土への理解と愛着を深めてもらう取り組みとして、記念献立を提供しました。

市制20周年 記念献立

ふるさと給食週間（6/16～6/20）

自慢の学校給食を提供



遠州袋井牛やメロン、お茶など
地元の食材をふんだんに使った特別メニュー

2-3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり

市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力を伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。

(1) 観光ビジネス創出プロジェクト

「海のにぎわい創出プロジェクト」による「RVパーク」や「海辺の駐車場」の整備など、地域資源の磨き上げに取り組むほか、エキマチフェスタ、花マルシェなど、公共空間を活用した賑わいの創出、袋井駅周辺や観光施設のライトアップなど、誘客や観光消費の拡大を図った。

今後の課題は、**域内の消費拡大に向けた地域資源の有効活用と連携強化**であり、多様な主体との更なる連携強化を図り、本市ならではの賑わいづくりに取り組むとともに、観光ビジネスの担い手の育成・確保などを支援し、地域内消費の拡大に取り組んでいく。

主な取組

★＝新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

★海のにぎわい創出プロジェクト【総合政策課、維持管理課、スポーツ政策課】

海プロフェスタ2026 : イベントを通じたRVパーク、海辺の駐車場等の完成披露 [開催日] 3/22
袋井幸浦の丘プロジェクト：地元住民向けニュースレター作成など

★公共空間を活用した賑わい創出【維持管理課、都市計画課、ブランド戦略課】

花マルシェ（ふくろい宿de花マルシェ）：[開催日] 6/7 [場所] 袋井宿場公園）
エキマチフェスタ : [開催日] 11/30 [場所] 袋井駅周辺
ミズベリング（原野谷川deカヌー教室）：[開催日] 10/18 [参加者] 約60人

・ふくろい夜宵プロジェクト事業【文化観光交流課】

イベント「ふふふの袋井」 : [実施期間] 2/9～3/13
（いにしへの装束体験やプロが教える料理教室、電動バイク試乗・登録会 など）
袋井駅周辺ライトアップ : [実施期間] 12/22～2/15
観光施設ライトアップ（法多山、可睡齋）：[実施期間] 11/22～12/7 など

★ふくろい観光ルネッサンス事業【文化観光交流課】

遠州の青もみじめぐり : [実施期間] 4月～6月
遠州三山風鈴まつり : [実施期間] 5/24～8/31
遠州三山紅葉めぐり : [実施期間] 11/1～12/7
可睡齋ひなまつり : [実施期間] 1/1～3/31



海プロフェスタ2026

(2) ふくろいファンづくりプロジェクト

「ふるさと納税」返礼品の充実・強化を図るとともに、首都圏向けのプロモーション活動に積極的に取り組んだ。また、「アイドルマスター SideM」とのコラボ企画を通じて、これまでアプローチできなかった層へ本市に対する認知度向上を図るなど、関係人口の創出や拡大に向けたプロモーション活動にも取り組んだ。

今後の課題は、**地域づくりの担い手として期待される関係人口の創出・拡大**であり、多様な主体と連携した、幅広いチャネルや機会を通じて、「ふくろいファンづくり」に取り組んでいく。

主な取組

・ふるさと納税の推進【ブランド戦略課】

申込サイト：全25サイト
新規返礼品：532品追加（パナソニックの小型洗濯乾燥機のほか、各種コラボグッズ、トヨタユゼック(株) GRガレージ袋井店での愛車撮影券など）
寄付実績 : 57,327件、1,359,806千円

・地域資源プロモーション【ブランド戦略課】

楽天超ふるさと納税祭への出店：
ふるさと納税返礼品等を通じた首都圏向けのリアルイベント [実施日] 9/14・15
「アイドルマスター SideM×袋井市」コラボ Welcome to ふくろい～315（サイコー）な思いを、2961（フクロイ）で～：
市の認知度向上と地域活性化を目指し、市制施行20周年記念事業として実施。
オリジナルグッズの販売をはじめ、フォトスポット（等身大パネル）の設置やふるさと納税への展開などを実施し、SNSを活用して市内の多くの方に向けたプロモーションを実現。[実施期間] 11/1～1/31

・姉妹都市・友好都市交流【秘書課】

情報発信 : 広報ふくろい10月号で塩尻市（15周年）と北杜市（20周年）の特集を掲載、
アイドルマスターコラボ動画を北杜市役所及び沼沼市役所に放映
袋井市民訪問（北杜市） : [実施日] 5/24 [参加人数] 28人
ヒルズボロ市学生訪問団来袋：茶手揉み体験、法多山紫雲閣にて郷土芸能披露等 [実施期間] 6/25～28

・移住・定住促進事業【ブランド戦略課】

移住交流ポータルサイトの運営：
「静岡まるごと移住フェア」への出展 : [出展日] 8/3、2/14 [場所] 東京交通会館



楽天超ふるさと納税祭への出店



静岡まるごと移住フェア

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
観光交流客数〔↑〕 【出典：総合計画、文化観光交流課】	千人	目標値 4,753 (2018)	5,075 2,403	5,100 3,320	5,125 4,145	5,150 4,590	5,175 4,946	5,000 9月頃 公表	—
観光案内所の来場者数〔↑〕 【出典：文化観光交流課】	人	目標値 20,172 (2018)	20,000 5,551	21,000 6,381	22,000 8,715	23,000 9,406	24,000 8,716	24,000 8,409	
ホームページ等のアクセス数（観光関係） 〔↑〕 【出典：総合計画、文化観光交流課】	件	目標値 583,522 (2018)	800,000 307,773	363,000 603,748	413,000 886,772	463,000 939,611	513,000 1,374,984	563,000 2,229,521	
市公式SNS「いいね」の数〔↑〕 【2024～：市公式SNS「フォロー」の数〔↑〕】 【出典：総合政策課】	件	目標値 35,459 (2018)	40,000 14,401	45,000 145,807	50,000 162,707	55,000 188,674	60,000 集計不可 18,106	150,000 集計不可 20,547	
全国地域ブランド調査における魅力度の順位 〔↑〕 【出典：ブランド戦略課】	位	目標値 600 (2018)	540 550	480 648	420 732	360 796	300 539	500 551	
ふるさと納税件数〔↑〕 【出典：ブランド戦略課】	件	目標値 1,240 (2018)	7,800 34,365	8,100 49,340	8,400 57,127	8,700 68,215	9,000 63,800	60,000 57,327	
ふれあい夢市場の来場者数〔↑〕 【出典：市民サービス課】	人	目標値 18,000 (2019)	19,000 中止	19,250 中止	19,500 13,000	19,750 20,000	20,000 20,000	20,000 18,000	
公共空間（公園、河川、道路）を活用した賑わ い創出イベント数（累計）〔↑〕 【出典：維持管理課、都市計画課】	件	目標値 6 (2019)	7 7	14 16	21 26	28 37	35 45	35 53	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
	よくできました	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

総合評価

3.7点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

推し活による地域振興
アイドルマスター SideMとのコラボ企画を実施！

市制施行20周年記念事業の一環で、株式会社バンダイナムコエンターテインメント提供の『アイドルマスター』シリーズとのコラボイベントを実施しました。
本市をモチーフにした特別衣装をまとったアイドルたちの限定グッズ販売や市内周遊イベント等を通じて多くの方に認知・来訪していただきました。
今後もアニメコンテンツや推し活を活用した新たな地域振興策に積極的に取り組んでいきます。

「推し活」支援 市制施行20周年記念事業
アイドルマスター SideMとのコラボ企画

THE IDOLM@STER's sideM Namco Entertainment Inc.

静岡県浜松市 市制施行20周年記念

Welcome to ふくろ

サイコー フクロー
～ 315 な思い出、2961 まで～

県内初
コラボ

2025.11.01 sat ～ 2026.01.31 sat
詳しくはコラボHPへ

～アイドルコンテンツを活用したシティプロモーションに初挑戦～

3-1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」

世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。

(1) 生涯活躍のまちづくりプロジェクト

人口減少と高齢化の進展による公助縮小下においても持続的な発展が可能な地域経営のあり方の実現に向けて、これまで5年間の「官民共創の基盤づくり推進事業」における実証成果をもとに、社会連携推進の仕組みづくりとして「スマート共創コミュニティの構築に関する調査研究」に取り組んだ。

また、市民の健康に対する意識や知識を高めるため、健康アプリの活用促進や地域での保健指導などに取り組んだ。

今後の課題は、新たなコミュニティが生まれやすい仕組みづくりであり、官民がつながり、対話ができるプラットフォームを基盤に、デジタルの要素も踏まえながら、生涯活躍できる地域社会の実現を目指していく。

主な取組

★=新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

★官民共創の基盤づくり推進事業【ブランド戦略課】

官民共創ネットワークを運用するとともに各機能ごとの仕組みの有効性を検討

：ワーキンググループ、プロジェクトチーム、共創モニター、庁内ワーキング
実証事業：フクロイエキマチフェスタ（11/30）、海プロフェスタ2026（3/22）

・働く世代からの健康づくり【健康未来課・健康長寿課】

ふじのくに健康づくり推進事業所：[登録数] 145事業所

ゲートキーパー養成研修：[開催日] 12/13 [参加者] 41人

健康度測定：[実施数] 11回 [参加者] 延べ137人

#2961ウォークの推進：[登録者数] 7,369人

新規登録者向け反射タスキプレゼントキャンペーンの実施

・健康リテラシーの向上【健康長寿課・保健予防課】

ふくろい健康保健室：[実施数] 82回 [参加者] 延べ2,709人

おやこ保健室：[実施数] 33回 [参加者] 集団指導232人、個別相談169人

みんなのよりみち保健室：[実施数] 9回 [場所] 市内のスーパーやドラッグストア等8店舗
[参加者] 延べ1,616人

出前健康教室：自治会・市民団体[実施数] 23回 [場所] 17か所 [参加者] 433人

事業所等：[実施数] 100回 [場所] 40事業所 [参加者] 4,191人

総合検診高血圧予防健康教育：[実施数] 27回 [参加者] 2,128人



官民共創ワーキング



みんなのよりみち保健室

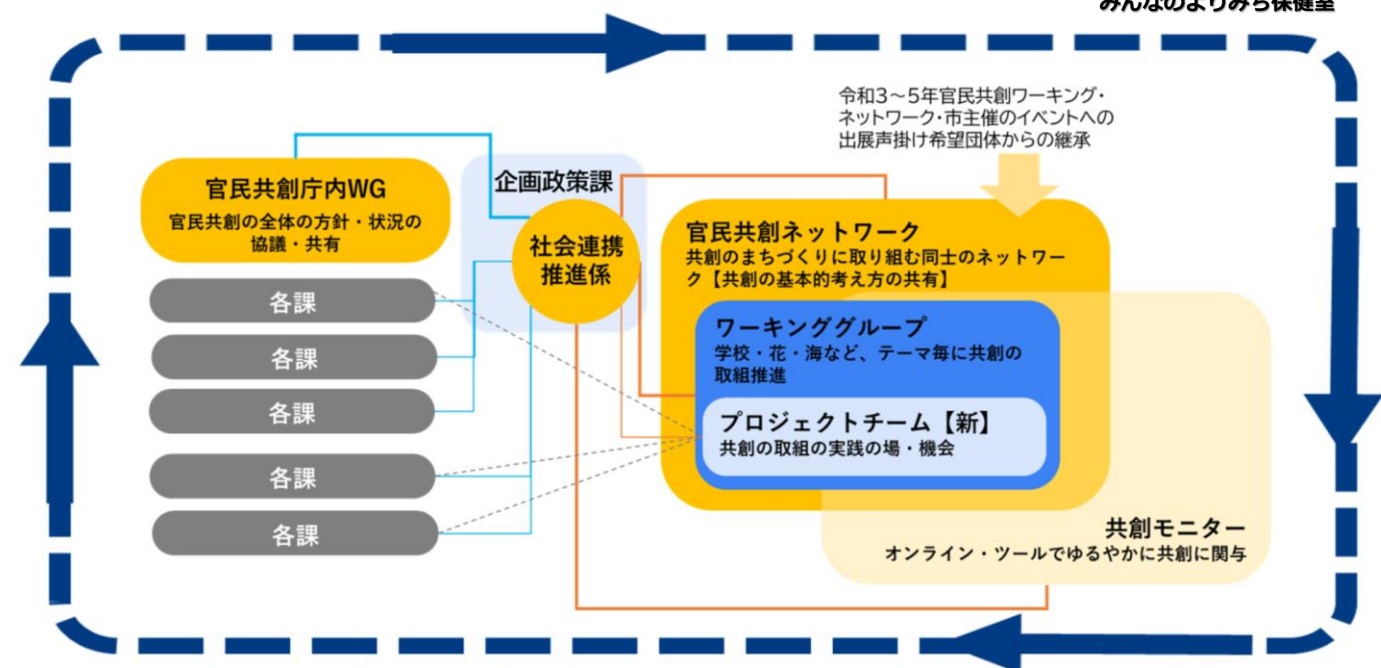


図 官民共創)庁内外ネットワークの全体像&施策起点サイクルのイメージ

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
お達者度（男性）〔↑〕〔2023～：お達者年齢〕 【出典：総合計画、健康未来課】 ※2023～算出方法変更。今後、指標名変更の可能性あり	年	目標値	17.92	17.98	18.05	18.12	18.19	18.19	—
		17.78 (2016)	18.77 (2018)	19.19 (2019)	19.30 (2020)	— 2029目標値 82.5 81.4 (2021)	— 81.2 (2022)	9月公表	
お達者度（女性）〔↑〕〔2023～：お達者年齢〕 【出典：総合計画、健康未来課】 ※2023～算出方法変更。今後、指標名変更の可能性あり	年	目標値	21.34	21.41	21.49	21.57	21.65	21.65	—
		21.18 (2016)	21.54 (2018)	21.58 (2019)	22.21 (2020)	— 2029目標値 86.0 85.0 (2021)	— 84.7 (2022)	9月公表	
（公社）袋井・森地域シルバー人材センターの 就業延人員〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	人	目標値	67,000	64,200	68,200	72,400	76,800	79,600	
		64,553 (2018)	55,916	56,337	60,255	57,983	56,971	55,963	
健康経営チャレンジ事業所数〔↑〕 【2024～：ふじのくに健康づくり推進事業所数】 【出典：健康未来課】	事業所	目標値	160	200	210	220	230	230	
		70 (2018)	135	134	135	131	— 2029目標値 125 129	— 145	
袋井市が住みやすいと感じている人の割合 〔↑〕 【出典：市民意識調査】	%	目標値	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	80.0	
		71.9 (2018)	71.4	72.9	73.3	73.7	73.7	72.4	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
	よくできました 	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です 	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り 	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう 	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

総合評価


3.0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

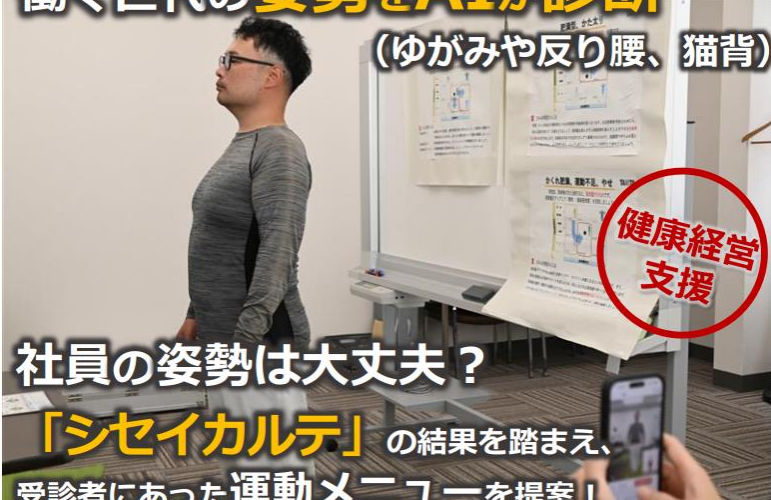
TOPICS

AIで見える化！
働く世代の姿勢改善プロジェクト

働く世代の運動習慣づくりの一環として、市内事業所を対象にAI姿勢分析システム「シセイカルテ」を活用した出張診断を行いました。

体の傾きやズレを数値化して将来のリスクが見える化できるなど効果的な診断が可能であり、こうしたデジタル技術を活用しながら、誰もが生涯にわたり活躍できる地域社会の実現に取り組んでいきます。

働く世代の姿勢をAIが診断
(ゆがみや反り腰、猫背)



社員の姿勢は大丈夫？
「シセイカルテ」の結果を踏まえ、
受診者にあった運動メニューを提案！

健康経営支援

3-2 支え合う多様な仲間づくり

高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。

（1）支え合い・つながり創出プロジェクト

コミュニティセンターを核とした地域コミュニティの維持・活性化に向けて、「特色ある地域づくり交付金」などによる「まちづくり協議会」の活動や地域住民が主催する地域のつながりづくり活動などを支援するほか、コミュニティセンターのLINE公式アカウントや地域版ホームページを活用した情報発信を行った。また、新たな総合計画の策定に併せて、各まちづくり協議会において、今後10年間で行政と地域で目指すまちづくりの方向性を定めた、「第3次袋井市総合計画 地域編」を策定した。

今後の課題は、現在各まちづくり協議会で策定しているまちづくり方針に基づく、コミュニティセンターを拠点とした地域コミュニティ活動の活性化であり、地域活動やイベント情報を、SNS等を活用して情報発信するとともに、子育て・介護・防犯防災・文化継承など、まちづくり協議会の活動を引き続き支援するなど、互いに支え合う互助・共助の体制づくりに取り組んでいく。

主な取組

★＝新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

- ・特色ある地域づくりの推進【協働まちづくり課】
特色ある地域づくり交付金の活用：[採択事業]計5事業、
まちづくり協議会4地区（袋井東、三川、浅羽西、豊沢）
まちづくり協議会交流会：[開催日] 2/7
- ★LINE公式アカウントを活用した情報発信【協働まちづくり課】
LINE公式アカウントによる情報発信（市内14地区ごと）：[登録者] 11,137人、[配信数] 1,233件
- ★地域版ホームページを活用した情報発信【協働まちづくり課】
最新の情報や魅力的で情報発信力の高いページを市民に提供する等、
コミュニティセンター等の活用に役立つ情報を配信。
- ・地域公共交通「地域タクシー」の運行【協働まちづくり課】
袋井東地区：[運行日数] 239日 [登録者] 361人 [利用者]延べ1,799人
- ・地域や学校等と連携した交通安全運動等【協働まちづくり課】
街頭指導等：[実施期間] 4月～12月 [実施数] 10回



まちづくり協議会交流会



交通安全に係る啓発活動

まちづくり協議会名	活動の名称
袋井東地区まちづくり協議会	いのちを守る防災隊
豊沢地域まちづくり協議会	安心安全な地域づくりに関する住民アンケート調査票作成事業
三川地区まちづくり協議会	高齢者生活支援事業
浅羽西地区まちづくり協議会	みんなで作ろう つるし雛事業
	夏の子ども大作戦事業

特色ある地域づくり交付金活用事業

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
地区まちづくり協議会が新たに取り組んだ特色ある地域づくり活動の数（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業	目標値 5 (2020推計)	5 10	10 19	15 27	20 40	25 45	30 50	
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数〔再掲〕〔↑〕 【出典：協働まちづくり課】	件	目標値 11 (2018)	10 1	8 8	9 12	10 13	11 6	12 9	
コミュニティセンターの利用者数〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	人	目標値 384,128 (2018)	410,000 207,168	412,000 219,436	413,000 261,892	414,000 299,919	415,000 292,838	416,000 283,156	
通いの場の箇所数（週1回以上の活動）〔↑〕 【出典：総合計画、健康長寿課】	箇所	目標値 70 (2020推計)	70 69	75 67	80 72	85 76	90 81	93 86	
総合健康センターでの総合相談件数〔↑〕 【出典：総合計画、健康長寿課】	件	目標値 3,423 (2018)	4,600 5,317	5,200 5,689	5,300 6,044	5,400 5,741	6,600 3,593	6,700 2,455	
消防団員数の充足率〔↑〕 【出典：総合計画、危機管理課】	%	目標値 85.61 (2019)	100.0 81.2	100.0 81.2	100.0 77.9	100.0 74.4	100.0 71.1	100.0 71.2	
見守りネットワーク実施箇所数（自治会数）〔↑〕 【出典：健康長寿課】	箇所	目標値 62 (2019推計)	65 69	76 69	83 87	90 110	106 116	110 134	
地域の絆や支え合いの仕組みが形成されていると感じている人の割合〔↑〕 【出典：市民意識調査】	%	目標値 50.6 (2018)	55.0 41.8	55.0 45.6	60.0 43.6	65.0 44.4	70.0 41.6	70.0 41.8	
仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあると感じている人の割合〔↑〕 【出典：市民意識調査】	%	目標値 54.0 (2018)	55.0 42.0	55.0 43.9	60.0 44.7	65.0 42.8	70.0 44.0	70.0 40.3	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
	よくできました 	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です 	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り 	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう 	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

総合評価



2.1点

TOPICS

みんなのチカラで美しい海をいつまでも
浅羽海岸クリーン作戦！

7月の全国一斉「海岸愛護月間」に合わせ、地域住民や企業と連携して「浅羽海岸クリーン作戦」を実施しました。参加者を広く募るため、幸浦地域まちづくり協議会が中心となってスイカ割りなどの催しも同時開催し、約700人が参加しました。清掃活動と交流イベントを組み合わせることで、美しい海とともにそれを保全する持続可能な地域活動として継承していきます。



3-3 多様性を強みとするまちづくり

外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組を進める。

(1) 「共創社会」加速化プロジェクト

外国人市民が増加する中、多文化共生のまちづくりを進めるとともに、グローバルな視点を持った市民の育成を推進するため、多文化共生情報紙「共生のトビラ」の発行をはじめ、「外国人との地域共生セミナー」を開催するほか、「多文化共生とはそういうことか!」を体感し、相互理解を深める機会として「世界!びっくり・ふしぎ・ほっこりエピソード展」を開催した。

また、性の多様性への啓発として、袋井市役所に「にじいろ階段」を設置するほか、多様な人材が活躍できる組織環境づくりを推進するため「企業・地域のためのLGBTQ+セミナー」を開催した。

今後の課題は、**女性や障がいのある方、外国人市民など誰もが活躍できる場を増やすこと**であり、地域・事業者・行政がさらに連携し、性別や国籍、障がいの有無を問わず、誰もが地域に住む市民として暮らしやすい環境づくりの推進により、多文化や多様性を本市の魅力として、相互に共感できる共創社会の実現に取り組んでいく。

主な取組

★=新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用事業

★多文化共生の推進【多文化共生推進課】

多文化共生情報紙「共生のトビラ」	: [発行時期] 7月、12月 [発行数] 各4,800部
外国人との地域共生セミナー	: 第1回 [開催日] 5/25 [参加者] 35人
	: 第2回 [開催日] 6/15 [参加者] 34人
	: 第3回 [開催日] 7/13 [参加者] 24人
職員向け「やさしい日本語」研修会	: [開催日] 8/5 [参加者] 76人
「世界!びっくり・ふしぎ・ほっこりエピソード展」	: ららぽーと磐田 [開催日] 1/24・25
	: 月見の里学遊館 [開催日] 2/11~2/25
	: 袋井図書館 [開催日] 2/28~3/15
ブラジル市民向け「あなたの未来を考えるセミナー」	: [実施日] 1/25 [参加者] 71人

・異文化への理解を深める取組【多文化共生推進課】

子ども・若者海外留学支援事業	: [参加者] 中学生4人、高校生3人、大学生2人
Facebookでの情報発信	: [投稿数] 全144件 [フォロワー数] 945人
ハローフレンド（国際交流に関心のある市民）の募集	: [登録者] 802人

・男女共同参画の推進【協働まちづくり課】

男性の家事・育児セミナー	: [開催日] 8/23
企業・地域のためのLGBTQ+セミナー、働く女性交流会	: [開催日] 1/28
「にじいろ階段」の設置	: [実施期間] 5/9~6/30



「世界!びっくり・ふしぎ・ほっこりエピソード展」



「にじいろ階段」の設置



外国人との地域共生セミナー



はじめての日本語ひろば



海外留学支援事業

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
多文化共生を推進するための講座数〔↑〕 【出典：総合計画、多文化共生推進課】	講座	目標値 12 (2019)	10	13	13	14	14	15	
外国人市民の防火防災啓発活動の参加率〔↑〕 【出典：総合計画、袋井消防本部予防課】	%	目標値 1.9 (2020)	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	10.0	
障がい者の法定雇用率を達成している民間企業の割合〔↑〕 【出典：総合計画、しあわせ推進課】	%	目標値 36.5 (2019)	50.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値 50 (2018)	50	52	54	56	58	60	
市の審議会等の女性委員の割合〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値 36.3 (2019)	40.0	37.5	38.1	38.7	39.3	40.0	
合計特殊出生率〔↑〕 【出典：総合計画、総合政策課】	—	目標値 1.79 (2017)	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	1.95	—
袋井市が子どもを産み育てやすい環境だと感じている人の割合〔↑〕 【出典：市民意識調査】	%	目標値 45.8 (2018)	1.57 (2019)	1.51 (2020)	1.42 (2021)	1.44 (2022)	1.48 (2023)	12月頃 公表	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
よくできました		目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
いい調子です		目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
もうひと踏ん張り		70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
もっとがんばろう		基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価



TOPICS

日常が接点の場に！ 商業施設と連携した共生のまちづくり

無印良品ノブレスパーク袋井にて、袋井特別支援学校高等部の生徒が製作した作業製品の展示・販売と店舗清掃を行いました。

市内の商業施設という日常の場で、普段接点の少ない住民と生徒が触れ合うことで共生社会への理解が深まり、多様性を強みとするまちづくりが進んでいきます。



戦略を支える取組

総合戦略では、国の第2期総合戦略を勘案して基本目標を次のとおり定めています。
3つの挑戦と基本目標との対応表は以下のとおりです。

- 基本目標 1 活力みなぎる産業のあるまちづくり
- 基本目標 2 快適で魅力にあふれ、安全・安心に暮らせるまちづくり
- 基本目標 3 子どもがすこやかに育つまちづくり
- 基本目標 4 市民がいいききと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

3つの挑戦	重点戦略	基本目標			
		活力みなぎる産業のあるまちづくり	快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり	子どもがすこやかに育つまちづくり	市民がいいききと活躍し健康長寿で、暮らしを楽しむまちづくり
挑戦 1 「ふくろい人」 ひとづくりへの挑戦	新しい時代を生き抜く人づくり			○	
	社会や産業を支える人づくり	○		○	
	挑戦する人を応援する土壌づくり	○		○	○
挑戦 2 「しっかり稼ぐ」 しごとづくりへの挑戦	新たな産業と地域社会づくり	○	○		
	稼げる農業づくり	○			
	「ふくろい」ならではの暮らしづくり	○	○		
挑戦 3 「支え合い」 誰もが活躍する まちづくりへの挑戦	人生100年時代「全世代が活躍する」まちづくり	○	○	○	○
	支え合う多様な仲間づくり		○	○	○
	多様性を強みとするまちづくり		○	○	○

業績指標の評価

(1) 活力みなぎる産業のあるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	億円	目標値	5,880	5,960	6,040	6,130	6,200	6,200	—
		5,880 (2017)	6,061 (2019)	5,727 (2020)	6,231 (2021)	7,468 (2022)	8,014 (2023)	2月頃 公表	
観光交流客数〔↑〕 【出典：総合計画、文化観光交流課】	千人	目標値	5,075	5,100	5,125	5,150	5,175	5,000	—
		4,753 (2018)	2,403	3,320	4,145	4,590	4,946	9月 公表	
主要農産物産出額〔↑〕 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値	72.2	71.9	71.6	71.3	71.0	72.0	
		72.8 (2018)	66.0	70.7	70.4	71.6	70.7	78.0	

(2) 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
地区計画などの実施面積〔↑〕 【出典：総合計画、都市計画課】	ha	目標値	355	370	370	370	370	370	
		308 (2018)	355	355	355	389	389	389	
一人1日あたりの可燃ごみの排出量〔↓〕 【出典：総合計画、環境・リサイクル推進課】 ※算出方法：総排出量(g/年)÷人口÷365	g	目標値	537	530	524	517	—	—	
		543 (2018)	556	523	491	464	—	—	
		—	—	—	—	—	452	439	
		—	—	—	—	—	440	431	
一人1日あたりの可燃ごみの排出量〔↓〕 【出典：総合計画、環境・リサイクル推進課】 (2024、2025) ※算出方法：可燃ごみ排出量(g/年)÷人口÷365	g	目標値	537	530	524	517	—	—	
		—	—	—	—	—	452	439	
河川改修延長の進捗〔↑〕 【出典：総合計画、土木防災課】	m	目標値	502	625	765	855	995	1,142	
		258 (2018)	512	619	851	1,218	1,425	1,556	
人身事故件数〔↓〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	560	545	530	515	500	360	
		559 (2019)	446	513	503	515	445	424	

(3) 子どもがすこやかに育つまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
合計特殊出生率〔↑〕 【出典：総合計画、総合政策課】	—	目標値	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	1.95	
		1.79 (2017)	1.57 (2019)	1.51 (2020)	1.42 (2021)	1.44 (2022)	1.48 (2023)	12月頃公表	
保育所待機児童数〔↓〕 【出典：総合計画、教育保育課】	人	目標値	0	0	0	0	0	0	
		58 (2018)	2	0	0	0	0	0	
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合（小6：国語・算数、中3：国語・数学） 〔↑〕【出典：学校教育課】	%	目標値	50.0	80.0	80.0	100.0	100.0	100.0	
		50.0 (2019)	中止	0	0	25.0	0	50.0	

(4) 市民がいいきと活躍し健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	達成度
お通者度（男性）〔↑〕 【出典：総合計画、健康未来課】	年	目標値	17.92	17.98	18.05	18.12	18.19	18.19	
		17.78 (2016)	18.77 (2018)	19.19 (2019)	19.30 (2020)	81.4 (2021)	81.2 (2022)	9月公表	
お通者度（女性）〔↑〕 【出典：総合計画、健康未来課】	年	目標値	21.34	21.41	21.49	21.57	21.65	21.65	
		21.18 (2016)	21.54 (2018)	21.58 (2019)	22.21 (2020)	85.0 (2021)	84.7 (2022)	9月公表	
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合〔↓〕【出典：総合計画、保健予防課】	%	目標値	10.4	10.3	10.2	10.1	10.5	10.4	
		10.5 (2018)	10.5 (2019)	10.3 (2022)	9.8 (2021)	10.6 (2022)	10.7 (2023)	11.3 (2024)	
総合健康センターでの総合相談件数〔↑〕 【出典：総合計画、健康長寿課】	件	目標値	4,600	5,200	5,300	5,400	6,600	6,700	
		3,423 (2018)	5,317	5,689	6,044	5,741	3,593	2,455	
自治会加入率〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
		85.3 (2019)	84.5	84.7	85.4	83.9	83.4	83.3	
協働まちづくりセンターの登録団体数（市民活動団体）〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値	50	50	50	50	50	50	
		53 (2018)	45	44	47	44	46	44	
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値	50	52	54	56	58	60	
		50 (2018)	53 27	54	58	58	59	60	

2015年度

第1弾 2014年2月補正⇒2015年全額繰越

総額：116,161千円

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔消費喚起・生活支援型〕

○事業費 72,653千円（国費10／10）

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

地域における消費喚起策「元気はつらつクーポン券」（プレミアム付き地域商品券）の発行

発行冊数：33,000冊、発行総額：396,000千円（プレミアム率20％／66,000千円）

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔地方創生先行型／基礎分〕

○事業費 43,508千円（国費10／10）

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

・「地方版総合戦略」の策定のほか、まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化（電子黒板の導入）、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

第2弾 2015年11月補正

総額：20,000千円

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔地方創生先行型／上乗せ交付（タイプⅠ）〕

○事業費 10,000千円（国費10／10）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

・「3 Days Worker's Office構想」策定事業

「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔地方創生先行型／上乗せ交付（タイプⅡ）〕

○事業費 10,000千円（国費10／10）

○交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付（施策の推進費）

○施策の概要

・まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、タブレットを活用した学習支援の社会実験
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム

○交付金名 **地方創生加速化交付金**

○事業費 **40,000千円（国費10／10）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

「3 Days Worker's Office構想」実装化事業

- ・基礎調査（②実施）により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

○交付金名 **地方創生加速化交付金**

○事業費 **40,000千円（国費10／10）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

「グローバル戦略」加速化事業

- ・T P Pを見据えたクラウンメロンの輸出促進
新興国市場での需要喚起と販路拡大（トップセールス、海外バイヤー招聘ほか）
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備
市民の英語力向上（英検受験助成ほか）、ふくろい版ホームステイ、シティプロモーション

2016年度

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／2016－2018）＜第39回地域再生計画認定＞**

○事業費 **50,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
市P R動画作成・首都圏プロモーション、サテライトオフィスの実証実験 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、クラウドファンディング推進 など
- ・人材育成／I T教育や観光教育の充実強化
I C T教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、ロボットプログラミング教育支援 など

○交付金名 **地方創生拠点整備交付金＜第41回地域再生計画認定＞**

○事業費 **16,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画

- ・縁側づくり（事務室の増築）と土間（庇）の設置
ENGAWA（事務室）ヒトとコトの交流ゾーン／DOMA（庇）モノの交流ゾーン
- ・備品購入（老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新）

第6弾 2017年当初

総額：50,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／2016－2018）〈第39回地域再生計画認定〉**

○事業費 **50,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
ふくろい版ホームステイ、クラウンメロンのブランド力向上、健康アプリ作成 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

第7弾 2017年交付（国委託事業）

総額：20,004千円

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業（1年目／2017－2019）**

○事業費 **20,004千円（国費10／10）**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第8弾 2018年当初

総額：50,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（3年目／2016－2018）〈第39回地域再生計画認定〉**

○事業費 **50,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・特産物やラグビーW杯を契機にした誘客活動や商品造成、IT企業と連携した働き方改革の実践
ふくろい版ホームステイ、ラグビー開催に向けた機運醸成、インバウンド観光推進 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／2018－2020）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **132,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション、農産物お土産開発、産業経済懇話会 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／2018－2020）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **67,600千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業（2年目／2017－2019）**

○事業費 **20,099千円（国費10／10）**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第11弾

2019年当初

総額：195,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／2018－2020）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **138,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション・ライトアップ、自動運転走行実証 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／2018－2020）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **57,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第12弾

2019年交付（国委託事業）

総額：20,108千円

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業（3年目／2017－2019）**

○事業費 **20,108千円（国費10／10）**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第13弾

2020年当初

総額：151,500千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（3年目／2018－2020）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **95,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
夜宵プロジェクト、ミズベリング、サイクルロードレース、自動運転走行実証 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯関連事業、ICT・SNSを活用したシティプロモーション など

○交付金名 **地方創生推進交付金（3年目／2018－2020）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **56,500千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第14弾

2020年9月補正

総額：30,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／2020－2022）〈第57回地域再生計画認定〉**

○事業費 **30,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した実証事業

2021年度

第15弾

2021年当初

総額：116,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／2020－2022）〈第57回地域再生計画認定〉**

○事業費 **116,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究、フッピー健康ポイント など
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した地域課題解決、地域コミュニティ情報発信 など
- ・多様性を強みとするまちづくりへの挑戦
まちの国際化、小中学校英語力向上、青少年指導者養成 など

2022年度

第16弾

2022年当初

総額：116,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（3年目／2020－2022）〈第57回地域再生計画認定〉**

○事業費 **116,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究、フッピー健康ポイント など
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した地域課題解決、地域コミュニティ情報発信 など
- ・多様性を強みとするまちづくりへの挑戦
まちの国際化、小中学校英語力向上、青少年指導者養成 など

2023年度

第17弾

2023年当初

総額：42,100千円

○交付金名 **デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）**

○事業費 **42,100千円（国費1／2）**

○交付要件 他の地域で既に確立されている優良モデルを活用したデジタル実装の取組を審査・選考

○施策の概要

ICT活用による保育の見える化・保育の質向上事業

- ・公立幼稚園・認定こども園13施設に対する園務支援システムの導入
- ・午睡チェックセンサーの活用 ・連絡帳等のデジタル化 など

○交付金名 **デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）（1年目／2023－2025）**
<第68回地域再生計画認定>

○事業費 **10,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「“ふくろい版”共創のまちづくり推進事業」 ～地域DXを見据えた新たな自治体経営への挑戦～

- ・官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくりへの挑戦
人口動態や地域経済など現状や課題の把握と共有する事業 など
- ・官民共創のまちづくり推進のための人づくりへの挑戦
スタートアップ企業らとのネットワーク構築

2024年度

○交付金名 **デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）（2年目／2023－2025）**
<第68回地域再生計画認定>

○事業費 **56,100千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「“ふくろい版”共創のまちづくり推進事業」 ～地域DXを見据えた新たな自治体経営への挑戦～

- ・官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくりへの挑戦
官民共創の組織運営支援と仕組みづくり検討事業、地域の拠点を接点としたお試し事業 など
- ・官民共創のまちづくり推進のための人づくりへの挑戦
人づくりに向けた研修会・講座の実施、スタートアップ企業との勉強会・交流会

○交付金名 **デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）**

○事業費 **197,209千円（国費1／2）**

○交付要件 他の地域で既に確立されている優良モデルを活用したデジタル実装の取組を審査・選考

○施策の概要

まちじゅう図書館推進事業

- ・ICシステム導入によるセルフ貸出・返却サービス
- ・電子書籍の貸出サービス ・市立図書館と学校図書館の共通システム導入 など

第20弾

2025年当初

総額：73,303千円

○交付金名 **新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（3年目／2023－2025）**
<第73回地域再生計画認定>

○事業費 **44,040千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「“ふくろい版”共創のまちづくり推進事業」 ～地域DXを見据えた新たな自治体経営への挑戦～

・官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくりへの挑戦

官民共創の仕組み確立、地域の拠点を接点としたお試し事業

・官民共創のまちづくり推進のための人づくりへの挑戦

人づくりに向けた研修会・講座の実施、スタートアップ企業との勉強会・交流会

○交付金名 **新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（1年目／2025－2027）**
<第73回地域再生計画認定>

○事業費 **19,403千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

地方発新産業の創出と若者が地方で挑戦・活躍できる環境の創出

・地方発新産業の創出に関する事業

・若者が地方で挑戦・活躍できる環境の創出に関する

○交付金名 **新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（1年目／2025－2027）**
<第73回地域再生計画認定>

○事業費 **9,860千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

袋井NEXTツーリズム2.0プロジェクト

・袋井NEXTツーリズム2.0における新たな観光客開拓と高付加価値化への取組

・袋井NEXTツーリズム2.0における地域経済活性化の取組

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと・創生会議

地方創生の実現に向けた取組の加速・深化を目的として、各々の専門分野から幅広く意見をいただくとともに、政策立案に向けた議論を行うため、市内（県内）及び首都圏で幅広く活躍されている産学官の代表者らにより構成する「ふくろい部会」・「首都圏部会」、市内金融機関等の支店長により構成する「金融機関支店長会議」を次のとおりそれぞれ設置し、会議を開催している。

(1) 地方創生会議委員名簿（2026年3月末現在／順不同・敬称略）

[ふくろい部会]

所 属	役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名
RealLabo (料理講師、ITサポート)	代表	足 立 美 和	農林環境専門職大学	学長	鈴 木 滋 彦
学校法人 山名学園 山名幼稚園	理事長	諸 井 理 恵	袋井商工会議所	会頭	豊 田 浩 子
安間製茶	代表	安 間 孝 介	静岡理工科大学	学長	木 村 雅 和
(株)ウェッジ	代表	大 場 和 明	アスリートクラブ	主宰	岡田千詠子
日本貿易振興機構 (JETRO浜松)	所長	中 本 健 一	静岡大学 情報学部	教授	遊 橋 裕 泰

[首都圏部会]

所 属	役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名
(株)朝日新聞社	元監査役	足 立 直 樹	(株)ココカラファイン グループ	代表取締役社長	塚 本 厚 志
(株)大和総研	主席研究員	内 野 逸 勢	イービストレード(株)	代表取締役社長	寺 井 良 治
(株)オート製薬	取締役	末 延 則 子	(株)大和コンピューター	代表取締役社長	中 村 憲 司
(株)三菱総合研究所	主席研究員	北 井 渉	楽天ペイメント(株)	監査役	幡 鎌 大 介
学校法人国際文化アカデミー JTBツーリズムビジネスカレッジ	常務理事兼 総務部長	鈴 木 良 照	(株)コクーン	取締役兼 プロデューサー	松 本 朋 丈
三井住友ファイナンス＆ リース(株)	執行役員	名 倉 明 彦			

[金融機関支店長会議]

静岡銀行	スルガ銀行	清水銀行	静岡県労働金庫	浜松磐田信用金庫
島田掛川信用金庫	遠州中央農業協同組合	日本政策金融公庫		

(2) 地方創生会議開催状況

[ふくろい部会（委員：6人【～2018年】、11人【2019年～】、10人【2025年】）]

No.	開催日	場 所	内 容
1	2015.5.19（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	2015.7.21（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	2016.6.29（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	2017.6.28（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	2018.6.27（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	2021.7.8（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	2020.2.13（木）	袋井市役所	第2期総合戦略素案について、意見交換
8	2020.7.6（月）	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換
9	2021.11.8（月）	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの社会について意見交換
10	2022.7.21（木）	袋井教育会館	地方創生事業評価、アフターコロナの社会について意見交換
11	2023.7.31（月）	袋井教育会館	地方創生事業評価、人口減少社会における今後のまちづくりについて意見交換
12	2024.7.30（火）	書面開催	地方創生事業評価、「袋井市人口ビジョン2060」について意見聴取
13	2025.8.21（火）	書面開催	地方創生事業評価、第三次総合計画及び第三次総合戦略について意見交換

[首都圏部会（委員：11人）]

No.	開催日	場 所	内 容
1	2015.5.12（火）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	2015.7.31（金）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	2016.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	2017.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	2018.7.3（火）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	2019.7.1（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	2020.2.12（水）	NIPPON GALLERY	第2期総合戦略素案について、意見交換
2020・2021年度は新型コロナ感染拡大の影響により個別に意見聴取			
8	2022.12.21（水）	東京グリーンパレス	地方創生事業評価、意見交換
9	2023.12.20（水）	全国町村会館	地方創生事業評価、意見交換
2024・2025年度は第3次袋井市総合計画の策定等の機会により個別に意見聴取			

（２）地方創生会議開催状況

〔金融機関支店長会議（委員：８人）〕

No.	開催日	場 所	内 容
1	2015.5.26（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」策定方針について
2	2015.7.29（水）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	2015.10.20（金）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン②総合戦略／政策パッケージ
4	2016.3.2（水）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について（調査依頼）
5	2016.7.22（金）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について
6	2017.2.15（水）	袋井市役所	平成29年度当初予算の概要について、3 Days Worker's Office構想について
7	2017.11.1（水）	袋井市役所	平成28年度地方創生取組結果の概要政策立案に向けた意見交換
8	2018.8.23（木）	袋井市総合センター	平成29年度地方創生取組結果及び平成30年度取組の概要政策立案に向けた意見交換
9	2019.7.17（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
10	2020.3.2（月）	袋井市総合センター	第2期総合戦略素案について、意見交換
11	2020.7.15（火）	袋井市役所	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換、地方創生の推進に係る連携協定について意見交換
12	2021.12.10（金）	袋井市役所	地方創生事業評価、地域の現状と国の新たな経済対策を踏まえた今後の展開方策について意見交換
13	2022.8.24（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、ふるさと納税制度の仕組みを活用した、「稼ぐチカラ」のある市内事業者の育成に向けた意見交換
14	2023.9.14（木）	袋井市役所	地方創生事業評価、アフターコロナにおける地域経済の動向について、外国人労働者を含めた人材確保の対策として市内事業者が取り組んでいる実態について意見交換
15	2024.8.7（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、「袋井市人口ビジョン2060」について意見交換
16	2025.8.7（木）	袋井市役所	地方創生事業評価、第三次総合計画及び第三次総合戦略について意見交換

地方創生の実現に向けた「政策勉強会」

地方創生の実現に向け、時代をリードする新技術や価値観などに携わる有識者を招聘し、知識を深めるとともに、政策立案につなげていくことを目的として、市長をはじめ、庁内幹部職員及び市議会、商工会議所等関係団体を対象とした「政策勉強会」を開催している。

No.	開催日	場 所	内 容
1	2015.12.19（土）	エコパ スタジアム	ラグビーワールドカップの魅力について 【講師】ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事業部長 伊 達 亮 氏 メガスポーツイベントを契機とした新たなまちづくり 【講師】E Y 総合研究所(株) 未来社会・産業研究部長 小川 高 志 氏
2	2016.1.21（木）	袋井市役所	労働市場の今後と政策課題 ～高齢者就労の実態～ 【講師】(株)リクルートワークス研究所 主任研究員 戸 田 淳 仁 氏
3	2016.2.18（木）	袋井市役所	ホームステイ × まちの国際化～我が家は、ときどきインターナショナル～ 【講師】Homestay in Japan／(株)ネクステージ 代表取締役 竹 島 千 歳 氏
4	2016.11.9（水）	袋井市役所	I C T まちづくりの近況と今後の展望について 【講師】東京大学大学院情報学環 教授 須 藤 修 氏
5	2017.9.1（金）	袋井市役所	シェアリングエコノミーをめぐる近況と今後の展望について 【講師】（一社）シェアリングエコノミー協会 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 積 田 有 平 氏
6	2018.12.25（火）	袋井市役所	変化の激しい時代を生きる子ども達のこれからの教育とは 【講師】小金井市立前原小学校校長 松田孝氏、 Google Japan Google for Education マーケティング統括部長 スチュアート・ミラー 氏
7	2019.3.15（金）	袋井市役所	地域所得力調査の結果から見る袋井の現状と課題 【講師】（一財）静岡経済研究所調査研究部長 山 田 慎 也 氏
8	2019.6.25（火）	袋井市役所	塩尻市に見る産学官民による地域 I C T の推進 【講師】総務省地域情報化アドバイザー 金 子 春 雄 氏
9	2019.12.17（火）	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山 崎 清 氏
10	2021.11.9（火）	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山 崎 清 氏
11	2022.12.14（水）	袋井新産業会館	若年層の就業観と“働きがい”を測るワーク・エンゲージメントの実態 【講師】(株)静岡総合研究所 主席研究員 岩間 晴美 氏
12	2023.11.22（水）	袋井市教育会館	デジタル社会の光と影について 【講師】個人情報保護委員会事務局（国際担当）参事官補佐 山本明央 氏 N T T コミュニケーションズ（株）主査 鈴木一生 氏
13	2024.9.18（水）	袋井新産業会館	専門職大学から袋井市の将来を考える 【講師】静岡県立農林環境専門職大学 学長 鈴木滋彦 氏 まちづくり考 断章 ―住まい方の宇宙― 【講師】静岡文化芸術大学 副学長 寒竹伸一 氏
14	2024.9.18（水）	袋井新産業会館	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 事業開発部長 鴨志田 武史 氏

金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

地方創生の実現に向け、各々の強みを活かした特色ある連携や取組を展開するため、次のとおり個別に「取組テーマ」を設定し、連携協定を締結した。

(1) 連携協定の状況

No.	金融機関名	調印日	取組テーマ
1	磐田信用金庫	2015.9.7	「農業」と「食」に関すること (例) 新規就農者等の創業支援
2	静岡銀行	2016.1.19	「健康」をキーワードにした施策連携 (例) 産業×健康づくりほか
3	浜松信用金庫	2016.1.21	アウトバウンド戦略とインバウンド戦略 (例) 農産物の海外輸出と観光PR
4	掛川信用金庫	2016.2.15	潜在的な労働力の発掘 (例) 女性の活躍などの創業支援
5	遠州中央農業協同組合	2016.2.18	競争力のある商品づくり (例) ふるさと納税返礼品の充実
6	スルガ銀行	2016.3.14	まちの賑わいづくり (例) 空き店舗の利活用
7	静岡県労働金庫	2016.3.17	若者〔勤労者〕の定住促進 (例) 住まい方など将来設計への助言
8	清水銀行	2016.3.25	地域を担う人材育成の推進 (例) 実践的な金融経済教育の普及

(2) 金融機関との連携による取組事例

■ 共通事項（全ての金融機関が参画）	■ 個別事項
・ 地域内就労需要供給実態調査	・ 磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介（山口県宇部市）
・ 金融機関支店長会議	・ 静岡銀行 地方創生特設PRブース設置（袋井支店）
	・ 浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援
	クラウドファンディング推進
	・ 遠州中央農業協同組合 農協祭での健康づくりPR
	・ スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト
	・ 静岡県労働金庫 ろうきん遠友会住宅フェスティバルでの定住PR

民間企業等との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

No.	企業等名	調印日	取組テーマ
1	凸版印刷(株)	2021.1.29	ICTの推進、市民サービスの向上、地域の産業振興・中小企業の支援、地域づくり・地域活性化 など
2	袋井商業高校、袋井高校、特別支援学校	2021.12.23	社会教育及び学校教育の充実や人材育成、まちづくりへの参画、地域産業の振興及び新産業の創出、地域づくり・地域活性化 など
3	あいおいニッセイ同和損害保険(株)浜松支店	2023.1.27	地域・暮らしの安全・安心、防災・災害対策、健康増進・介護支援、産業振興・中小企業支援、文化・スポーツ振興 など
4	明治安田生命保険相互会社	2024.12.24	スポーツの振興、スポーツを通じた青少年の育成支援や健康づくり推進、地域振興 など
5	静岡産業大学	2025.11.13	スポーツ、観光、文化の振興、地域産業・地域経済の活性化、健康づくりの推進、未来を担う人材育成、地域の情報発信 など

外部人材の登用

No.	分 野	氏 名	役 職	派遣元	任 期
1	ICT	山 本 明 央	理事	総務省	2019.4～2021.7
2	デジタル	鈴 木 一 生	専門官	(株)NTTドコモ	2020.4～2022.3
3	ICT教育	柏 萌 菜 美	専門官	凸版印刷(株)	2021.4～2022.3
4	ICT教育	一ノ宮美香	専門官	凸版印刷(株)	2021.4～2023.3
5	シティプロモーション	神 谷 高 宏	専門官	(株)JTB	2022.4～2024.3
6	ICT	小 俣 一 樹	専門官	(株)NTTドコモ	2022.4～2024.3
7	ICT	鳴 瀬 邦 彦	専門官	コニカミノルタパブリテック(株)	2022.4～2024.3
8	ICT	平 山 高 士	専門官	(株)日立システムズ	2022.4～2026.3
9	ICT兼産業	家 中 耕 一	専門官	(株)フォーバル	2023.4～2026.3
10	ICT	樽 見 寧	戦略官	富士通Japan(株)	2024.4～2026.3
11	シティプロモーション	森 敬 広	専門官	(株)JTB	2024.4～2026.3
12	ICT	澤 田 誠 二	専門官	コニカミノルタパブリテック(株)	2024.4～2025.3
13	ICT	片 岡 裕	専門官	(株)WIL Consulting	2025.10～2026.3

このページは空白です

